

# 第14回厚生科学審議会感染症分科会結核部会

日 時：平成20年12月5日（金）

10:00～12:00

場 所：厚生労働省5F専用第12会議室

## 議 事 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

#### （1）議 題

1）結核登録票に係る活動性分類等について

2）今後の結核医療のあり方について

ア）今後の結核病床のあり方に関する研究の実施状況

イ）長期入院患者に関する研究の実施状況

#### （2）その他

### 3. 閉 会

# 第14回厚生科学審議会感染症分科会結核部会 資料一覧

## 【資料】

- 資料1 結核登録票に係る活動性分類等について
- 資料2-1 「結核病床のあり方」について（前回部会における議論の要約）
- 資料2-2 平成20年度厚生科学研究「結核菌に関する研究」  
今後の結核病床のあり方に関する研究 中間報告（概要）  
研究協力者：吉山 崇
- 資料2-3 平成20年度厚生科学研究「結核菌に関する研究」  
長期入院患者に関する研究 中間報告（概要）  
主任研究者：加藤 誠也

## 【参考資料】

- 参考資料1 結核登録者数等の推移
- 参考資料2 平成19年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）
- 参考資料3 結核病床利用率の推移
- 参考資料4 感染症指定医療機関の指定状況（平成20年3月末現在）

## 結核登録票に係る活動性分類等について

## 1. 現状

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号。以下「感染症法」という。）では、「保健所長は、結核登録票を備え、これに、その管轄する区域内に居住する結核患者及び厚生労働省令で定める結核回復者に関する事項を記録しなければならない（感染症法第 53 条の 12）。」としている。
- 「厚生労働省令で定める結核回復者」は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則（平成 10 年厚生省令第 99 号。以下「施行規則」という。）により、「結核医療を必要としないと認められてから 3 年以内の者その他結核再発のおそれが著しいと認められる者（施行規則第 27 条の 7）」と規定している。

## 2. 検討課題

- 「潜在性結核感染症」が、平成 19 年 6 月より届出基準に位置付けられたため、活動性分類の区分に追加することが必要である。
- 治療終了後、再発するまでの期間を踏まえると、結核医療を必要としないと認められてから 3 年以内としている期間について、見直す必要があるとの指摘がある。
- 治療終了後の再発患者の早期発見を目的とした経過観察の実施方法について、感染症法第 53 条の 13 に規定する結核登録票に登録されている者に対する精密検査のあり方を含め、議論する必要があるとの意見がある。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（抄）

（平成十年十月二日 法律第百十四号）

（結核登録票）

第五十三条の十二 保健所長は、結核登録票を備え、これに、その管轄する区域内に居住する結核患者及び厚生労働省令で定める結核回復者に関する事項を記録しなければならない。

- 2 前項の記録は、第十二条第一項の規定による届出又は第五十三条の十の規定による通知があった者について行うものとする。
- 3 結核登録票に記載すべき事項、その移管および保存期間その他登録票に関し必要な事項は、厚生労働省令で定める。

（精密検査）

第五十三条の十三 保健所長は、結核登録票に登録されている者に対して、結核の予防又は医療上必要があると認めるときは、エックス線検査その他厚生労働省令で定める方法による精密検査を行うものとする。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則（抄）

（平成十年十二月二十八日 厚生省令第九十九号）

（結核回復者の範囲）

第二十七条の七 法第五十三条の十二第一項に規定する厚生労働省令で定める結核回復者は、結核医療を必要としないと認められてから 3 年以内の者その他結核再発のおそれが著しいと認められる者とする。

## 活動性分類等について

(平成 17 年 3 月 31 日)

(健感発第 0331004 号)

(各都道府県・各政令市・各特別区衛生主管部(局)長あて厚生労働省  
健康局結核感染症課長通知)

結核予防法(昭和 26 年法律第 96 号)第 24 条第 1 項に規定する結核登録票に登録されている者に係る活動性分類等については、下記を参酌の上、具体的運営を図られたい。

なお、本通知は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 245 条の 4 第 1 項に規定する技術的な助言とし、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

おって、「活動性分類の運用について」(平成 7 年 12 月 26 日付け健医感発第 109 号厚生省保健医療局エイズ結核感染症課長通知)は廃止し、「地方自治法第 245 条の 9 に規定する処理基準の設定について」(平成 13 年 4 月 12 日付け健感発第 21 号厚生労働省健康局結核感染症課長通知)の一部を次のように改正する。

第 2 を削り、第 3 を第 2 とする。

### 記

#### 第 1 分類の原則

活動性分類は、結核登録票に登録されている者の管理区分を示す分類であり、最新の医師の診断(肺結核にあつては結核菌検査及び胸部エックス線検査に基づく診断、肺外結核にあつては臨床・理学的検査に基づく診断)による指示及びその診断の時期からの経過期間に基づき次のいずれかに区分されること。

- 1 活動性  
結核の治療を要する者
- 2 不活動性  
治療を要しないが経過観察を要する者
- 3 活動性不明  
病状に関する診断結果が得られない者

## 第2 活動性分類の区分

登録時の活動性分類は、第3に定める登録時の結核症の主な罹患臓器、菌所見及び治療の既往を勘案し、次のいずれかに区分すること。

- 1 肺結核活動性・喀痰塗抹陽性・初回治療
- 2 肺結核活動性・喀痰塗抹陽性・再治療
- 3 肺結核活動性・その他結核菌陽性
- 4 肺結核活動性・菌陰性・不明
- 5 肺外結核活動性

## 第3 登録時の活動性分類

第2に定める登録時の活動性分類は、次に定めるところによること。

### 1 結核症の主な罹患臓器

結核菌が罹患した臓器により次のように分類すること。

#### (1) 肺結核

肺又は気管支を主要罹患臓器とする結核症。ただし、肺結核と肺外結核を合併する者は、肺結核に分類すること。

#### (2) 肺外結核

肺及び気管支以外の臓器を主要罹患臓器とする結核症及び粟粒結核。ただし、結核性胸膜炎、膿胸、肺門リンパ節結核及び粟粒結核は、肺外結核とすること。

### 2 菌所見

肺結核については、診断時の結核菌検査所見により次のように分類すること。

#### (1) 喀痰塗抹陽性

結核菌喀痰塗抹陽性の者

#### (2) その他結核菌陽性

喀痰塗抹以外の検体・検査法を用いた検査で結核菌陽性の者(喀痰塗抹陰性で培養陽性の者、気管支内視鏡検査で塗抹陽性の者、核酸診断検査で陽性の者等)

#### (3) 菌陰性・不明

結核菌陰性の者及び検査を行わなかった者

### 3 治療の既往

既往の結核に対する化学療法の実施状況により次のように分類すること。

#### (1) 初回治療

(2)以外の者

(2) 再治療

結核に対する化学療法を過去に1月以上受け、かつ、その治療終了後2月以上経過している者

第4 区分の変更等

分類の変更等については、次の基準によること。

1 不活動性

治療を終了した者は、不活動性に分類を変更すること。

2 活動性不明

最近1年以内の病状に関する診断結果が得られない者は、活動性不明に分類を変更すること。

3 菌所見

治療開始後6月以内に第3の2の(2)に定めるその他結核菌陽性又は同2の(3)に定める菌陰性・不明の者でより若い番号の所見が得られた場合には、これに変更すること。

第5 登録の削除

1 結核登録票に登録されている者が次のいずれにも該当しない場合は、職権により登録を取り消す(講学上の撤回)こと。

(1) 結核患者

(2) 結核医療を必要としないと認められてから3年以内の者

(3) 結核再発のおそれが著しいと認められる者

2 結核患者の診断に係る疾患の原因となっている病原体等が非定型抗酸菌(非結核性抗酸菌)その他の非結核性のものであることが判明した場合は、結核予防法の適用はなく、登録は無効であること。当初から1のいずれにも該当しないことが事後に判明した場合も、同様とすること。

## 「結核病床のあり方」について (前回部会における議論の要約)

### 1. 結核病床の現状

- 近年の結核入院患者数の減少により、結核病棟で空床が目立っている。  
(現在の結核病床数 約1万。平均病床利用率は 30%台)
- 地域により病床利用率に 10%未満～60%と地域格差が認められる。

### 2. 結核入院医療の提供体制

- 一定の集約化(手厚い医療、医療水準の維持)が有効な方策と考えられるが、分散化(国民の結核医療へのアクセスの確保)の視点も重要。
- 単一病棟での運営は困難となっており、ユニット化～陰圧設備を有する個室化が今後の方向性ではないか。
- ハイリスク患者に対する医療(総合医療)提供体制の整備が重要。
- 新型インフルエンザ対策との連携について検討することが必要。

### 3. 結核入院医療のための法的整備

- 結核病床の施設基準の整備及び、感染症法上と医療法上の取り扱いの整理が必要。



平成 20 年度厚生科学研究「結核菌に関する研究」  
今後の結核病床のあり方に関する研究  
中間報告（概要）

研究協力者 吉山 崇

<目的>

1. 結核治療に必要な病床数の現在数を地域別に推計する。  
また、今後の日本全国での必要病床数の見通しを推定する。
2. 結核病床、感染症病床、一般病床中の結核患者収容モデル事業病  
における許可病床数、稼働病床数、陰圧病床数の集計を行う。
3. 上記の、1, 2 を比較し、今後必要な病床の検討を行う。

<方法>

1. 現在の地域別結核患者数は結核の統計により、また今後の患者数の  
推定は結核研究所の大森らによる推定により、患者数を設定した。患  
者のタイプ毎に（年齢別、喀痰塗抹検査による感染性別）必要入院日  
数を設定し、患者数を乗じ、患者数の変動に応じた係数を乗じること  
により、現時点では地域別の、今後については全国の、必要病床数の  
推定を行う。
2. 全国の結核病床、感染症病床、一般病床中の結核患者収容モデル事  
業病床を実施している病院に対するアンケートを 2005 年に実施し、  
その時点の許可病床数、稼働病床数、陰圧病床数の集計を行った。

<結果>

1. 結核の入院治療のための必要病床数は今後も減少すると予測され  
るが、入院必要期間をどう置くかによる変動幅は大きい。
2. 許可病床のうち実際に稼働していない割合は少なくない。稼働病床  
の半分は陰圧室である。
3. 北海道、東北、北陸、山陰の全県で、すでに陰圧結核病床数は必要  
病床数より多くなっている。しかし、大都市圏では、感染症病床、モ  
デル病床の全陰圧室(必ずしも結核患者対応可能でないものを含む)を  
動員しても、結核患者数に対して十分ではなく、もっとも可能性の高  
い患者数将来予測による 2015 年の段階の結核患者数をまかなうの  
にも十分ではない。
4. また、陰圧室の数が県単位では十分な地域においても、二次医療圏  
ごとには結核病床のないところも多く、アクセスの容易さを考慮した  
検討が、今後さらに必要である。
5. さらに、今後は結核だけでなく、呼吸器感染症全般に対応可能な病  
床を見据えた検討をしていく必要があると思われる。

平成 20 年度厚生科学研究「結核菌に関する研究」  
今後の結核病床のあり方に関する研究  
中間報告

研究協力者 吉山 崇

<背景>

結核患者数の減少、結核入院期間の短縮により、結核患者治療のために必要な病床数は減少している。今後の結核病床のあり方について検討をするためには、現在、必要な病床数の合理的な推定、および、今後の見通しについての根拠が求められている。また、より一層の院内感染対策がこれからの結核病床には必須であり、その重要な因子である空気感染対策室（陰圧 HEPA フィルター循環室）について、その整備状況の把握が求められている。

<目的>

1. 結核治療に必要な病床数の現在数を地域別に推計し、また、今後の日本全国での必要病床数の見通しを推定する。
2. 結核病床、感染症病床、一般病床中の結核患者収容モデル事業病床における、許可病床数、稼働病床数、陰圧病床数の集計を行う。
3. 上記の、1，2を比較し、今後必要な病床の検討を行う。

## <方法>

1. 現在の地域別結核患者数は結核の統計により、また、今後の患者数の推定は、結核研究所大森らによる推定により設定した。患者のタイプ毎に（年齢別、喀痰塗抹検査による感染性別）必要入院日数を設定し、患者数を乗じ、患者数の変動に応じた係数を乗じることにより、現時点では地域別（都道府県、二次医療圏）、今後については全国の、必要病床数の推定を行う。

患者数の今後の変化については、年齢別罹患率が現在までの変化率で変化すると仮定した場合、またはコホート効果が働き、年齢別罹患率が各年齢コホートの罹患率の推移によって変化すると仮定した場合、など複数のモデル計算が、大森らによって行われている。そのうち、もっとも可能性が高いモデルを基本とし、患者数が多いモデル計算も行った。

必要入院日数については、現在は喀痰塗抹陽性患者の入院日数については60-80日程度とする報告が多い。一方、米国での入院日数は14日程度、ドイツは2ヶ月程度との報告もあるため、喀痰塗抹陽性患者は60日全員入院、喀痰塗抹陰性患者は、他疾患合併患者などの一部（70歳未満で5-10%、70歳以上で30-60%）が30日入院するとの仮定で行った計算を基本とし、入院日数30日というモデル計算も行った。また、結核の診断がつくまでの非結核性抗酸菌症の混入なども加味した。

2. 全国の結核病床、感染症病床、一般病床中の結核患者収容モデル事業病床を実施している病院に対するアンケートにより、許可病床数、稼働病床数、陰圧病床数を把握した。

3. 1の結果はモデルにより複数の結果がえられた。また、2の結果は回収率が100%でないため、現状については一定の幅を持って推定することとなった。これらの幅のある結果を比較し、今後必要な病床数を推定したため、本推計の結果には一定の限界がある。

## <結果>

### 1. 必要病床数の計算(計算による推定)(資料 1=予測患者数の推移,2=必要病床数の推定,3=都道府県別 2005 年の患者数での必要病床数)

資料 1 は、大森らの推定による(大森正子、吉山崇、石川信克、日本の結核蔓延に関する将来予測,結核 2008;83:365-377、同論文では年齢別将来予測患者数の数値は載っていない)結核患者数の推移予測のうち、筆者が推定する最も可能性の高いモデル(モデル 1)での推移および患者数が多く残ると思われるモデル(モデル 2)の値である。

それをもとに、資料 2 に必要病床数の将来予測を示す。現在の各県の合計必要病床数を求めると、入院 60 日での必要病床数は、3548 ないし 4335、入院 30 日での必要病床数は、1950 ないし 2343 となった。2020 年の入院 60 日での必要病床数は、患者数標準推定で 1982 ないし 2523、入院 30 日での必要病床数は、1036 ないし 1382 となった。患者数大目の推定では入院 60 日で 2604 から 3193、30 日で 1347 から 1717 となった。

資料 3 は 2005 年の都道府県別患者数より推定する必要病床数で、病床数の計算方式は資料 2 と同じである。2005 年現在、結核病床として届けられている病床数を左に示す。厚生労働省統計による許可病床数のうち実際に稼働している病床数の割合は 75%程度(後述)である。必要病床数を地域別にみると、首都圏では必要病床数は許可病床数の 41%-50%、中部と近畿でも 40%前後であったが、東北北海道、中国四国、九州では 20-25%程度であった。しかし、稼働病床の割合が 75%程度であるため、それに対する比としてみると、首都圏では 60%前後となる。2005 年の二次医療圏別に必要病床数も推計したが、二次医療圏の人口の違いから、必要病床数にはかなりばらつきがあり、必要病床数ゼロになってしまう二次医療圏も少なくないことから、推計は困難であった。なお、現在でも結核病床を持たない二次医療圏も多い。

### 2. 現在の結核病床数のうち実際に存在している病床数と陰圧室の数(アンケート調査)(資料 4=全国の結核病床数陰圧室数、資料 5=都道府県別)

モデル病床、感染症病床と比して、陰圧室数は結核病床に多い。

結核病床は、許可病床数に比して実際に稼働している病床数はかなり少ない。10791 床相当の 298 病院のうち 225 病院(8180 病床相当)より返答を得たが、うち、674 床相当の病院からは回答を得られなかったことから、7506 病床相当の病院についてのみ分析を行った。うち、稼働している結核病床は 4902 床で、64%程度に過ぎなかった。そのうち、陰圧室は 2520 病床であった。

モデル病床、感染症病床を有する病院からの返答数はモデル病床 76 病院中 62 病院、感染症病床 344 病院中 248 病院であったが、陰圧病床数はそれぞれ 143, 647 病床で、うち結核患者を受け入れることが可能な病床はそれぞれ 123, 264 病床であった。よって、結核患者を受け入れることが可能なこれらの病床と加えると陰圧病床数は 2900 床程度となった。調査時点で、結核患者を受け入れることが何らかの理由で難しい陰圧病床も含めると、3300 病床程度となる。陰圧個室数は、結核病床で 495 室、結核患者の受け入れ可能なモデル病床で 81 室、感染症病床で 155 室が個室であった。

資料 5 のとおり都道府県別では、2005 年の必要病床数と比較すると、北海道、東北、北陸、山陰の全県で、すでに、陰圧結核病床数は必要病床数より多くなっているが、大都市圏（南関東、愛知、京都、大阪、兵庫）では、感染症病床の全陰圧室を動員しても、結核患者を受け入れるに十分ではなく、結核が順調に全国並みのスピードで減ったとしても（2005 年の 27%減）、東京と大阪、愛知ほか一部の県では 2015 年の段階の結核患者数をまかなうのに十分ではなかった。しかし、これまでも大都市圏での結核罹患率の減少は全国平均よりも少なく、若年人口比率の高い大都市圏では今後の結核減少は全国平均よりも緩やかと考えられる。

## <結論>

結核必要病床数は今後も減少すると予測されるが、入院必要期間をどう置くかによる変動幅は大きい。

許可病床のうち実際に稼働していない割合は少なくない。稼働病床の半分は陰圧室である。北海道、東北、北陸、山陰の全県で、すでに、陰圧結核病床数は必要病床数より多くなっているが、大都市圏では、結核患者を受け入れることが難しい陰圧室も含めた感染症病床等の全陰圧室を動員しても、結核患者に十分ではなく、もっとも可能性の高い患者数将来予測による 2015 年の段階の結核患者数をまかなうのにも十分ではなかった。そのため、今後も陰圧室を確保していくことが必要であると考えられた。

また、陰圧室の数が県単位では十分な地域においても、二次医療圏ごとには結核病床のないところも多く、アクセスの容易さを考慮した検討が必要である。さらに、今後は結核だけでなく、呼吸器感染症全般に対応可能な病床を見据えた検討をしていく必要があると思われる。

資料 1 年齢別患者数予測

＜患者数モデル1＞ 塗抹陽性患者数

年	2005	2010	2015	2020	2025	2030
total	11318	10132	8363	6577	5186	4134
0-	1	1	0	0	0	0
5-	2	0	0	0	0	0
10-	3	2	1	1	0	0
15-	72	53	42	30	20	13
20-	274	250	207	177	142	106
25-	415	377	323	271	240	199
30-	450	390	326	270	226	200
35-	425	474	373	302	247	204
40-	408	443	457	348	280	227
45-	468	420	418	418	315	248
50-	641	466	401	392	391	294
55-	922	650	421	354	344	343
60-	846	805	514	306	249	236
65-	947	738	699	427	246	198
70-	1119	802	624	581	345	193
75-	1482	1111	749	564	524	302
80-	1435	1424	1007	658	490	455
85+	1408	1724	1801	1478	1127	915

＜患者数モデル2＞ 塗抹陽性患者数

年	2005	2010	2015	2020	2025	2030
total	11318	11440	10422	9012	7629	6383
0-	1	1	0	0	0	0
5-	2	0	0	0	0	0
10-	3	3	2	1	1	0
15-	72	53	42	31	21	14
20-	274	267	229	203	168	130
25-	415	393	345	298	270	230
30-	450	406	340	280	231	201
35-	425	474	374	301	243	196
40-	408	451	462	348	274	216
45-	468	476	469	461	341	263
50-	641	559	521	501	491	361
55-	922	734	553	507	487	478
60-	846	818	565	392	341	314
65-	947	867	780	520	356	306
70-	1119	987	851	740	486	329
75-	1482	1395	1099	919	791	512
80-	1435	1681	1461	1123	932	800
85+	1408	1875	2328	2387	2197	2032

＜患者数モデル1＞ 全患者数

年	2005	2010	2015	2020	2025	2030
total	28319	21,885	16,545	12,409	9,473	7,413
0-	56	34	20	13	9	6
5-	39	20	12	7	4	3
10-	115	69	48	33	21	13
15-	406	302	226	178	134	97
20-	862	660	510	407	331	258
25-	1247	955	739	592	485	397
30-	1362	1100	834	657	540	450
35-	1259	1070	864	657	520	430
40-	1153	1008	860	697	532	423
45-	1239	935	829	712	583	447
50-	1599	1040	774	692	602	498
55-	1920	1309	833	623	564	491
60-	2169	1531	1041	658	491	447
65-	2384	1687	1204	820	507	371
70-	2859	1904	1356	977	666	407
75-	3179	2292	1501	1085	786	532
80-	3297	2818	2152	1555	1194	910
85+	3176	3362	3224	2523	1860	1487

＜患者数モデル2＞ 全患者数

年	2005	2010	2015	2020	2025	2030
total	28319	24667	20500	16833	13777	11327
0-	56	37	23	14	9	6
5-	22	13	7	4	2	1
10-	39	20	12	6	3	2
15-	284	181	133	92	61	40
20-	895	755	597	504	405	308
25-	1408	1140	921	759	669	562
30-	1438	1111	859	676	544	468
35-	1239	1148	836	644	505	405
40-	1099	1025	969	700	537	420
45-	1121	993	904	854	615	470
50-	1498	1102	946	873	834	608
55-	2178	1494	1032	903	845	818
60-	2084	1736	1101	731	620	567
65-	2244	1868	1536	975	649	551
70-	2823	2207	1744	1441	916	612
75-	3509	2933	2120	1686	1404	895
80-	3206	3250	2595	1901	1527	1289
85+	3176	3655	4165	4069	3630	3305

## 資料 2 患者数予測に基づく必要病床数

		2005	2010	2015	2020	2025	2030
<b>&lt;入院 60 日&gt;</b>							
患者数モデル I	少目予測	3568	3153	2608	2017	1577	1255
	大目予測	4545	3975	3290	2563	2006	1593
患者数モデル II	少目予測	3575	3544	3206	2725	2286	1908
	大目予測	4561	4454	4004	3411	2855	2374
<b>&lt;個室&gt;</b>							
患者数モデル I	少目予測	2029	1776	1471	1122	871	693
	大目予測	2814	2425	2011	1557	1213	960
患者数モデル II	少目予測	2036	1988	1788	1499	1249	1040
	大目予測	2829	2704	2409	2032	1688	1397
<b>&lt;入院 30 日&gt;</b>							
患者数モデル I	少目予測	1854	1647	1375	1053	822	656
	大目予測	2421	2136	1794	1402	1102	879
患者数モデル II	少目予測	1858	1843	1673	1407	1177	983
	大目予測	2429	2376	2150	1826	1526	1269
入院患者数トレンド延伸		8096	4834	2886	1723	1029	614

### \* 計算仮定

<入院期間>	入院 60 日	要個室	入院 30 日
塗抹陽性	60	30	30
塗抹陰性	30	30	15

### <入院割合>

	少目予測	大目予測
塗抹陽性	1	1
塗抹陰 70 才未満	0.05	0.1
塗抹陰 70 才以上	0.3	0.6

### <その他>

	少目予測	大目予測
変動係数(季節変動に応じた倍数)	1.6	1.8
慢性排菌減少(1-減少率)	0.95	0.85



資料3 都道府県別 2005年の患者数での必要病床数

	2005年 総病床	<入院 60 日>		<個室>		<入院 30 日>	
		少目計算	大目計算	少目計算	大目計算	少目計算	大目計算
合計	10791	3548	4335	2122	2598	1950	2343
北海道	522	104	127	63	78	58	69
青森	112	34	43	20	26	19	23
岩手	230	29	35	18	22	17	20
宮城	140	41	50	26	31	24	29
秋田	89	21	27	12	17	11	14
山形	50	20	25	11	15	10	13
福島	191	36	44	22	28	20	24
茨城	213	68	83	43	52	40	47
栃木	184	42	51	25	30	23	28
群馬	79	35	44	21	27	19	24
埼玉	273	168	202	98	116	92	109
千葉	365	155	187	87	104	81	97
東京	1108	422	510	246	290	228	272
神奈川	386	213	259	119	143	110	133
新潟	120	50	62	31	38	28	34
富山	107	25	32	16	21	14	18
石川	142	25	31	15	20	14	17
福井	110	20	25	12	16	11	14
山梨	94	19	23	11	14	11	13
長野	134	36	44	23	29	21	25
岐阜	157	67	84	40	52	37	45
静岡	198	98	123	59	76	53	66
愛知	396	209	258	121	151	111	135
三重	80	57	69	38	45	35	41
滋賀	107	25	32	15	20	13	17
京都	351	85	104	49	60	45	54
大阪	1232	464	552	274	322	258	302
兵庫	391	194	238	117	144	108	129
奈良	100	51	61	30	37	28	33
和歌山	166	31	38	19	24	17	21
鳥取	34	12	16	7	10	6	8
島根	88	18	23	10	14	9	12
岡山	170	48	59	29	36	26	32
広島	205	68	82	39	49	37	44
山口	145	41	52	26	34	23	28
徳島	103	25	31	17	21	15	18
香川	135	24	32	14	19	12	16
愛媛	153	36	45	23	29	20	25
高知	212	23	27	15	18	14	16
福岡	526	137	169	81	101	73	89
佐賀	108	19	24	12	15	11	14
長崎	262	49	63	32	42	29	35
熊本	266	53	65	35	44	32	38
大分	170	34	44	21	28	19	24
宮崎	110	37	43	24	28	23	26
鹿児島	146	47	59	31	40	28	34
沖縄	131	33	42	19	25	17	22

資料 4 病院宛病床実態調査結果

	結核	モデル病床	感染症
病院数	298	76	344
返答あり病院数	225	62	248
2005 年総病床数	10791	377	1692
返答あり病院の 2005 年総病床数	8180	317	1398
回答あり病院の 2005 年総病床数	7506		
回答あり病院の返答時稼働病床	4902	195	1061
回答あり病院返答時陰圧病床数	2520	143	647
回答あり病院返答時陰圧個室数	495	90	398
回答あり病院返答時陰圧室数	1063		528
上記のうち結核入院可能と返答			
稼働病床数		180	367
陰圧病床数		123	264
非陰圧病床数		99	103
陰圧個室数		81	155
陰圧部屋数			204

資料5 都道府県別病床実態調査結果

	結核病床							モデル病床					感染症病床								
	60日入院 2005年患者数 計算必要 病床	2005年の 総病床数	返答あり 病院の 2005年 総病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	2005年の 総病床数	返答あり 病院の 2005年 総病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	2005年の 総病床数	返答あり 病院の 2005年 総病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	返答あり 病院の返 答稼働 病床数	a<b?	a<b+c+d ?	a*0.73<(b+c+d)*f/g?
	a	f	g	b				c						d							
全国	3548	10791	8180	4898	2520	495	1063	377	317	195	143	99	1692	1398	1061	647	398	no	no	yes	
北海道	104	522	384	224	108	29	52	36	20	10	10	0	82	80	66	24	18	yes	yes	yes	
青森	34	112	112	108	36	0	11	0	0	0	0	0	20	20	20	16	8	yes	yes	yes	
岩手	29	230	210	131	51	5	19	0	0	0	0	0	42	38	28	13	5	yes	yes	yes	
宮城	41	140	140	108	84	20	40	7	7	4	5	0	22	18	18	16	10	yes	yes	yes	
秋田	21	89	73	44	44	8	19	0	0	0	0	0	30	28	14	10	10	yes	yes	yes	
山形	20	50	50	50	50	2	20	0	0	0	0	0	18	16	12	8	4	yes	yes	yes	
福島	36	191	145	90	32	16	21	1	1	0	0	0	36	20	14	4	2	no	yes	yes	
茨城	68	213	180	73	43	5	14	2	2	0	0	0	46	43	24	11	7	no	no	yes	
栃木	42	184	184	100	20	0	7	2	2	0	0	0	28	22	22	20	10	no	no	yes	
群馬	35	79	79	79	21	4	10	3	3	3	3	0	46	46	28	16	12	no	yes	yes	
埼玉	168	273	221	221	36	10	15	10	6	4	4	0	44	44	30	32	6	no	no	no	
千葉	155	365	161	161	73	10	28	10	7	2	5	0	45	45	41	30	28	no	no	yes	
東京	422	1108	790	309	186	36	67	28	24	19	21	2	96	58	51	12	4	no	no	no	
神奈川	213	386	370	229	127	13	43	0	0	0	0	0	74	72	36	24	10	no	no	yes	
新潟	50	120	100	100	50	6	18	13	13	7	7	0	36	32	40	14	12	no	yes	yes	
富山	25	107	77	45	45	9	19	4	0	0	0	0	20	10	10	10	6	yes	yes	yes	
石川	25	142	142	92	66	18	31	3	3	0	0	0	18	14	10	4	0	yes	yes	yes	
福井	20	110	54	46	38	9	20	0	0	0	0	0	20	20	18	10	10	yes	yes	yes	
山梨	19	94	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	8	8	0	0	no	no	no	
長野	36	134	84	84	24	8	12	6	6	4	2	0	44	24	18	10	8	no	yes	yes	
岐阜	67	157	157	125	105	41	60	6	0	0	0	0	28	22	24	12	12	yes	yes	yes	
静岡	98	198	48	42	50	6	22	2	2	2	2	0	48	42	40	40	24	no	no	yes	
愛知	209	396	214	118	74	16	31	22	22	14	11	3	64	54	42	20	10	no	no	yes	

三重	57	80	60	60	50	8	19	49	49	47	19	30	26	18	14	12	8	no	yes	yes
滋賀	25	107	97	30	34	4	14	0	0	0	0	0	26	24	16	17	17	yes	yes	yes
京都	85	351	226	61	43	7	15	0	0	0	0	0	30	18	18	12	10	no	no	yes
大阪	464	1232	960	448	139	32	61	8	8	3	3	0	78	69	23	23	5	no	no	no
兵庫	194	391	341	203	137	23	52	17	17	8	8	0	52	44	38	14	6	no	no	yes
奈良	51	100	100	60	14	14	14	0	0	0	0	0	22	22	13	11	5	no	no	no
和歌山	31	166	166	113	20	4	8	8	0	0	0	0	20	16	16	13	13	no	yes	yes
鳥取	12	34	34	24	24	8	16	0	0	0	0	0	12	4	4	0	0	yes	yes	yes
島根	18	88	88	34	25	3	7	4	4	4	4	0	28	8	4	0	0	yes	yes	yes
岡山	48	170	158	149	17	6	9	0	0	0	0	0	26	18	10	10	10	no	no	no
広島	68	205	59	59	0	0	0	58	58	36	15	22	24	24	6	2	2	no	no	yes
山口	41	145	115	50	29	5	13	0	0	0	0	0	40	32	35	34	15	no	yes	yes
徳島	25	103	98	91	40	8	17	0	0	0	0	0	14	14	14	6	4	yes	yes	yes
香川	24	135	130	80	7	3	5	4	4	0	0	0	18	18	12	4	4	no	no	no
愛媛	36	153	67	49	49	8	17	1	1	1	1	0	26	18	12	10	4	yes	yes	yes
高知	23	212	212	160	102	18	43	0	0	0	0	0	11	11	11	9	9	yes	yes	yes
福岡	137	526	408	189	193	32	84	18	18	0	0	0	56	56	56	29	17	yes	yes	yes
佐賀	19	108	58	0	0	0	0	14	14	14	2	4	22	18	14	10	6	no	no	yes
長崎	49	262	236	100	92	14	36	0	0	0	0	0	38	30	20	12	10	yes	yes	yes
熊本	53	266	246	156	84	15	31	10	0	0	0	0	52	40	12	13	3	yes	yes	yes
大分	34	170	0	0	0	0	0	15	10	0	4	38	44	40	35	14	10	no	no	yes
宮崎	37	110	37	20	5	1	3	2	2	11	11	0	30	26	22	12	12	no	no	yes
鹿児島	47	146	116	108	33	9	15	14	14	2	6	0	50	42	30	18	6	no	yes	yes
沖縄	33	131	125	75	20	2	5	0	0	0	0	0	12	12	12	6	6	no	no	yes

平成 20 年度厚生科学研究「結核菌に関する研究」  
長期入院患者に関する研究  
中間報告（概要）

主任研究者 加藤誠也

<目的>

治療が困難なために感染性がなくなる患者の処遇を検討する基礎資料として慢性排菌患者の実態を調査する。

<方法>

慢性排菌患者の定義を 2000 年度緊急実態調査時に行われた際と同じく、発生動向調査上、「2 年以上登録されて、1 年以内に菌陽性であった患者」とした。

(1) 発生動向調査における慢性排菌患者数

1999 年末から今回の調査（2006 年末）までの間の慢性排菌患者数と年末の活動性結核患者数の動向を比較した。

(2) 2006 年末慢性排菌患者調査

発生動向調査システムから、2006 年末で上記定義に合致する患者 465 名を抽出した。厚生労働省結核感染症課から各都道府県をとおして、対象患者の患者番号と質問票を各保健所に送付して、結核予防会結核研究所宛郵送によって回収した。

<結果>

(1) 発生動向調査における慢性排菌者数

1999 年には発生動向調査での該当者は 1598 人であったが、徐々に減少し、2006 年末には 465 人になった（図 1）。各年末における活動性結核患者数に比較すると 2002 年以降は減少傾向が大きかった（図 2）。2000 年度調査と今回の調査を比較すると、「副作用による治療中断」「糖尿病」はあまり変わりがなかったのに対して、「初回治療時薬剤耐性検査未実施」「未使用薬剤の 1 剤ずつの追加」「薬剤耐性不明のまま薬剤追加」「本人の不規則治療自己中断」など人為的な問題によるものは減少した（図 3）。

## (2) 2006 年末慢性排菌患者調査

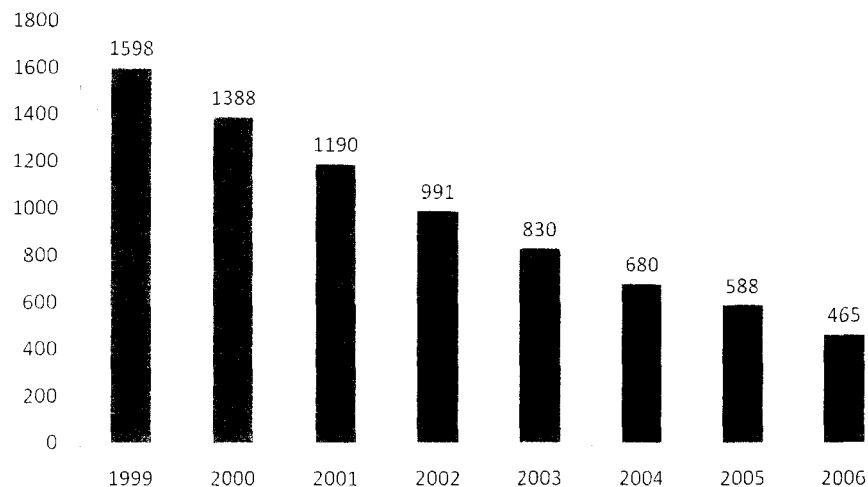
- 1) 多剤耐性結核患者は 150 人程度であった。多剤耐性結核患者ではないが、何らかの理由で治療期間が長くなっている例が含まれている (図 4)。
- 2) 登録時 50 歳代が最多であったが、調査時には 60 歳代が最多であった。多剤耐性結核患者は、結核患者全体より若い年代が多い傾向が認められるが、徐々に高齢化している。再治療例が約 2 割含まれている (図 5)。
- 3) 登録時に比較して患者の病状は臨床的には改善している例が多いが、薬剤耐性例は増加している (図 6～図 11)。
- 4) 手術歴ありで 76%、手術歴なしで 38%が何らかの呼吸機能障害を持っている。半数近くの人が、社会生活に制限がある (図 12)。
- 5) 培養陽性例では、半数以上が外来治療となっている (図 13)。
- 6) 入院していない患者の生活状況は、発病前と変わらない人が半数である一方、仕事をしていない/他人と会わない、さらに家族とも会わない人が半数近くいる (図 14)。
- 7) 感染防止措置を全く取っていない患者が 17% (図 15)、月 1 回以上通院している患者が約 6 割、そのうち公共交通機関の利用は約 3 割、通院時間は 30 分を超える。入院患者の中で、1 年以上、外出・外泊していない入院患者が 100 人程度いる。 (図 16)。

### <結論と今後の課題>

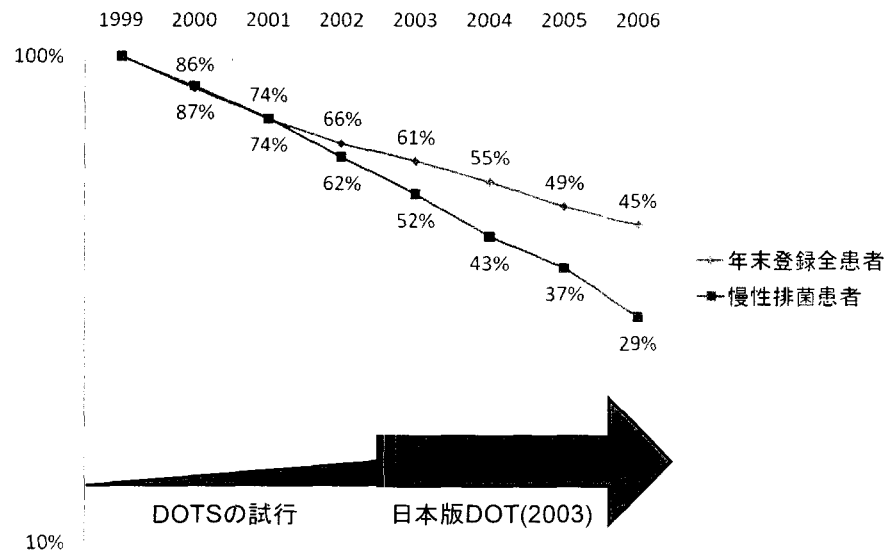
慢性排菌になった要因は初回耐性(薬剤耐性結核菌に感染)と治療上の問題があり、発生防止のためには感染予防及び薬剤耐性を含めた確実な診断・治療が重要である。DOTS による確実な治療が慢性排菌患者の減少に有用であったと考えられ、今後とも推進する必要がある。

慢性排菌・長期入院になった要因、結核菌検査、日常生活状況等を含め、さらに詳細な解析を実施中であり、それらを元に、今後とも議論を行う必要がある。

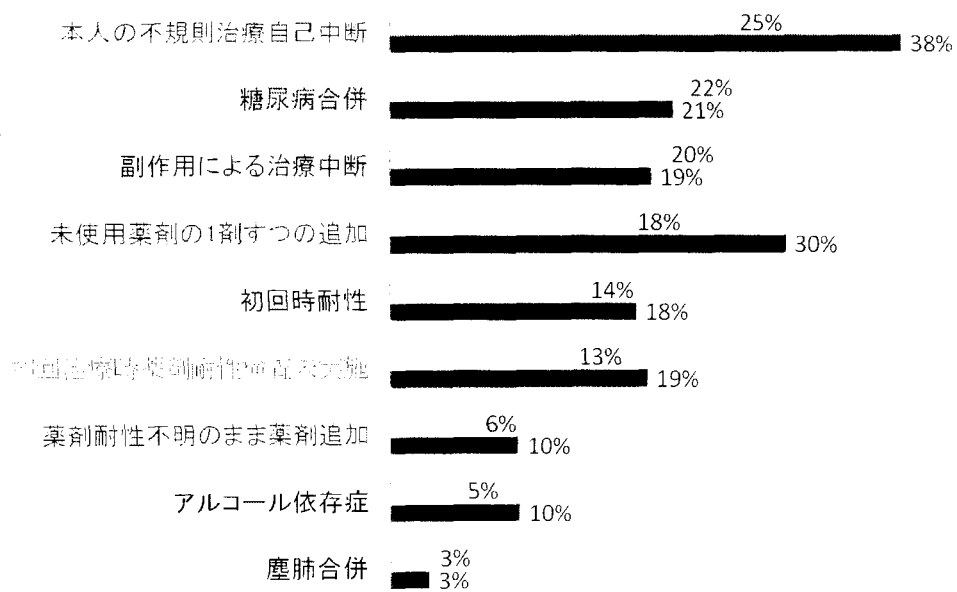
### 図1. 年末慢性排菌者数



### 図2. 年末慢性排菌者傾向



### 図3. 慢性排菌化の要因



平成19年調査 ■ 平成12年調査

### 図4. 調査結果

#### 回収率

調査対象者465名  
(2006年末)に対して、  
434名に関する情報が  
得られ、回収率は  
93.3%だった。

#### 患者数(登録年度別)

登録年度	平成19年調査	平成12年調査	不明	回収率 (%)
-1959	9	8	1	89%
-64	4	3	1	75%
-69	5	5	0	100%
-74	11	6	5	55%
-79	6	4	0	67%
-84	11	9	1	82%
-89	26	22	3	85%
-94	23	20	3	87%
-99	57	33	12	58%
-2004	282	41	145	15%
Total	434	151	171	35%

NA: 薬剤感受性検査結果が不明

図5. 年齢分布  
(登録時年齢と2006年時)

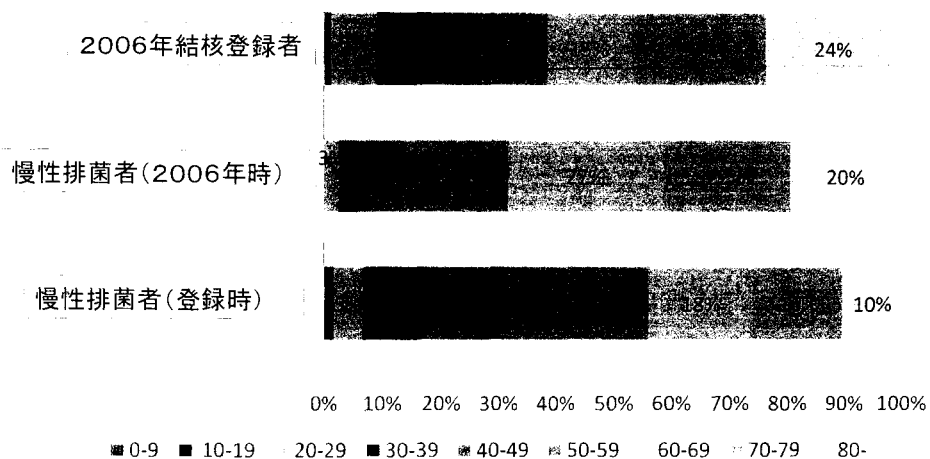


図6. 登録時の病型 (n=434)

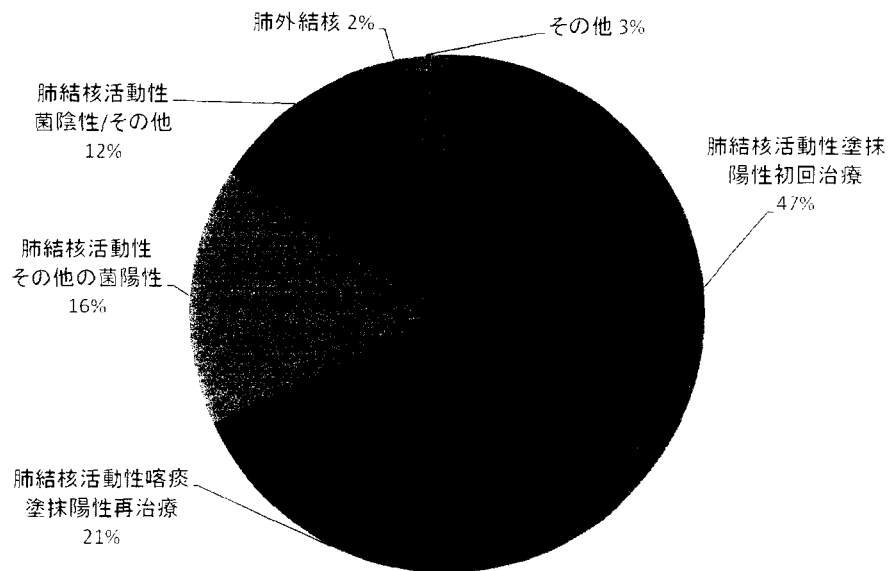


図7. 登録時と2006年時の症状  
(n=434)

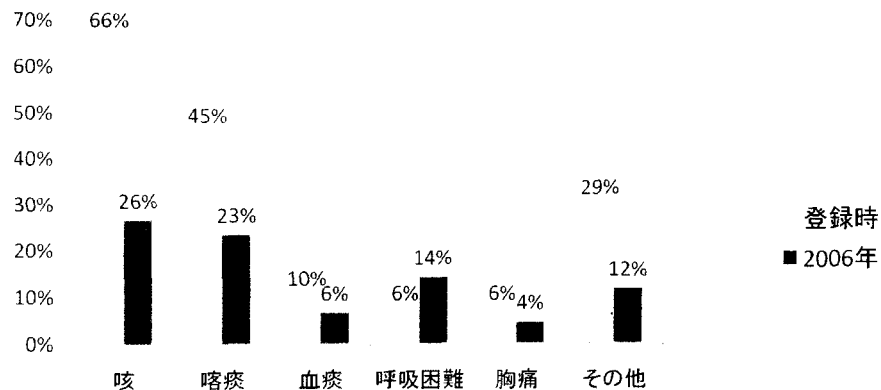
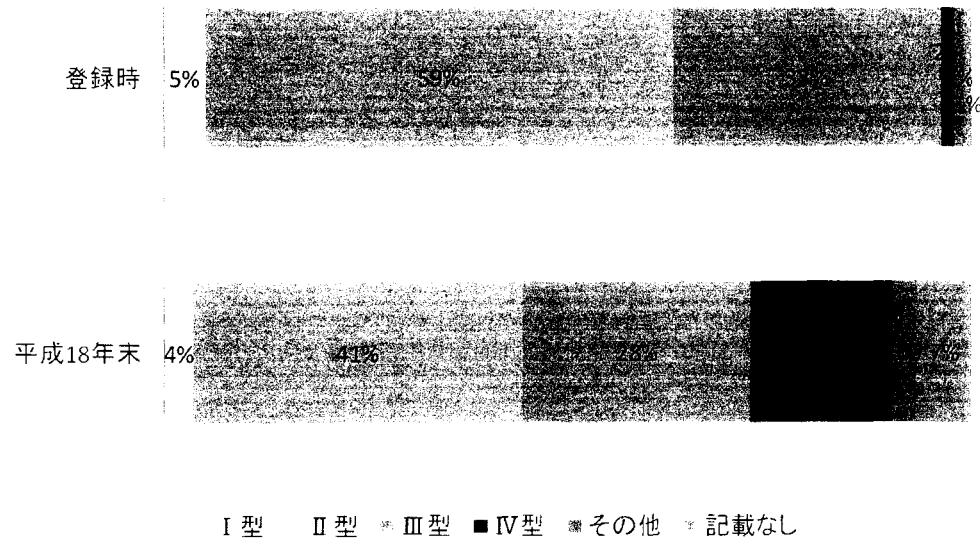
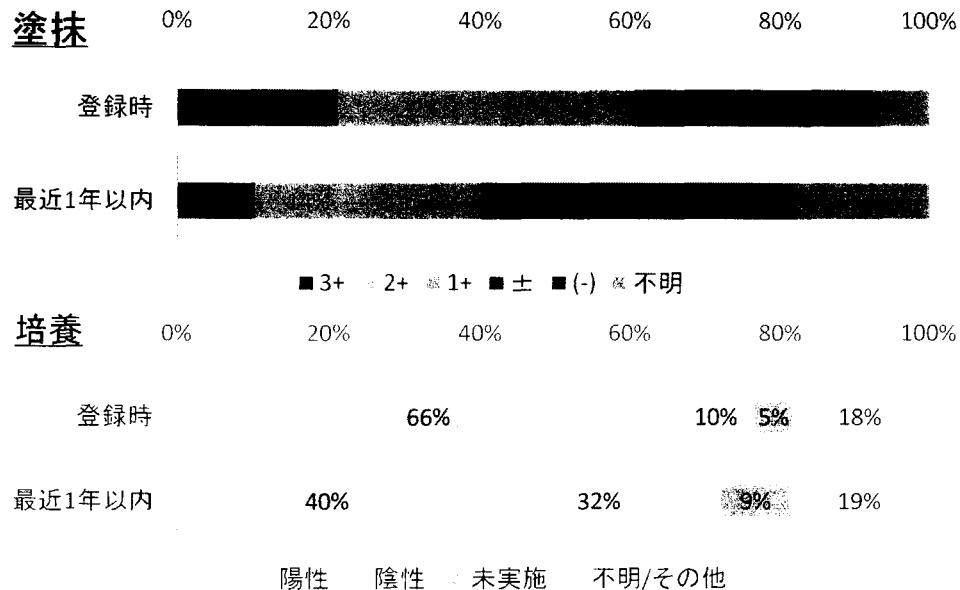


図8. 胸部X線写真学会分類 (n=434)

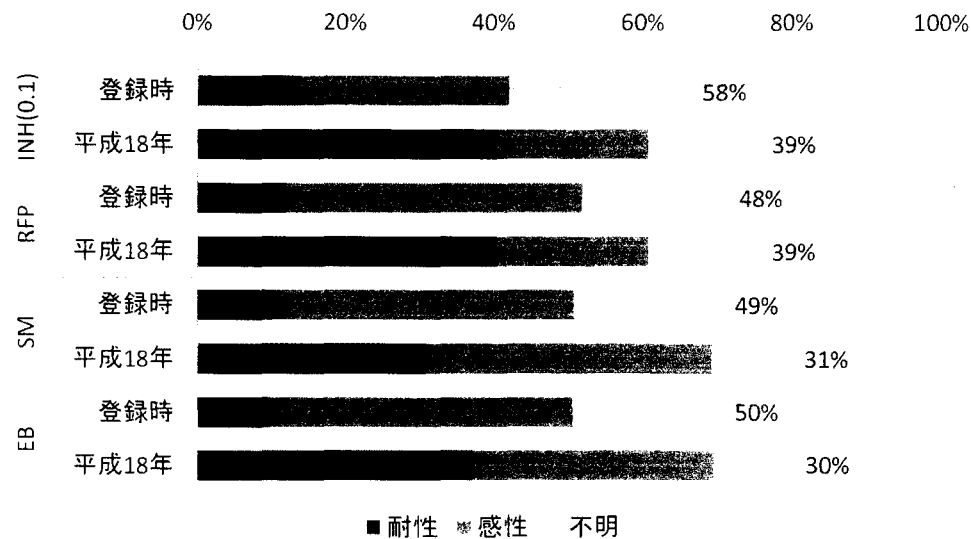




### 図9. 結核菌検査結果

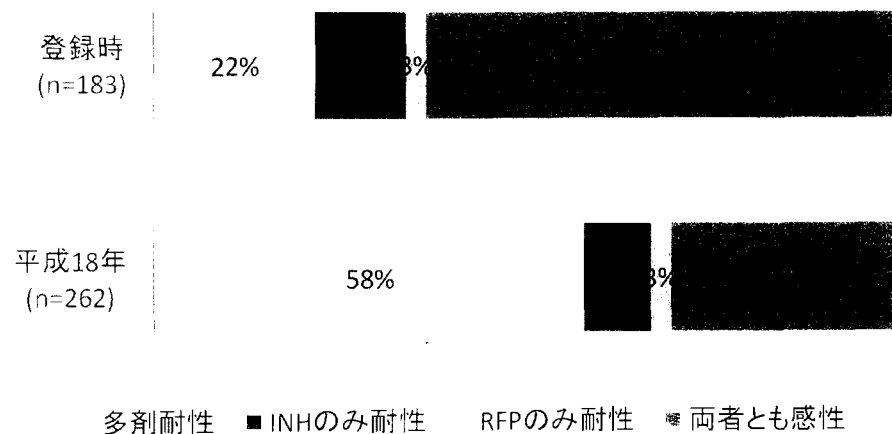


### 図10. 薬剤感受性検査結果

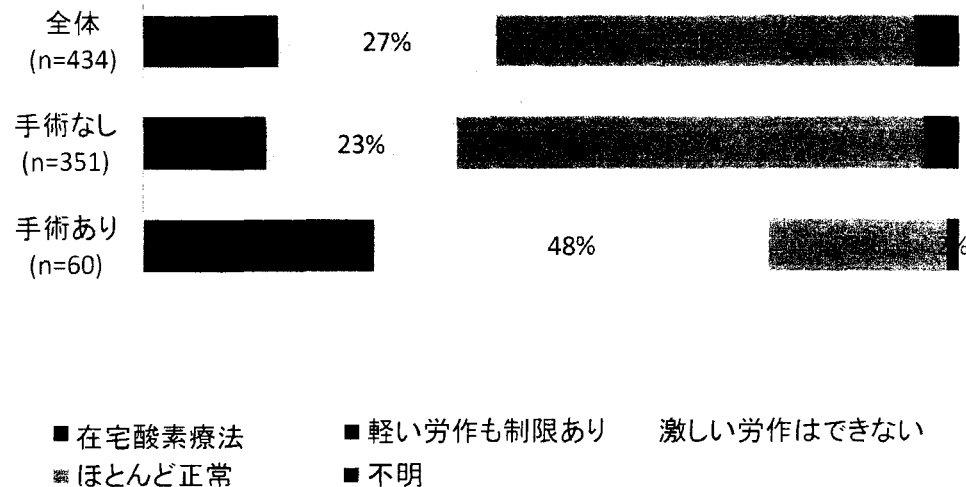


07

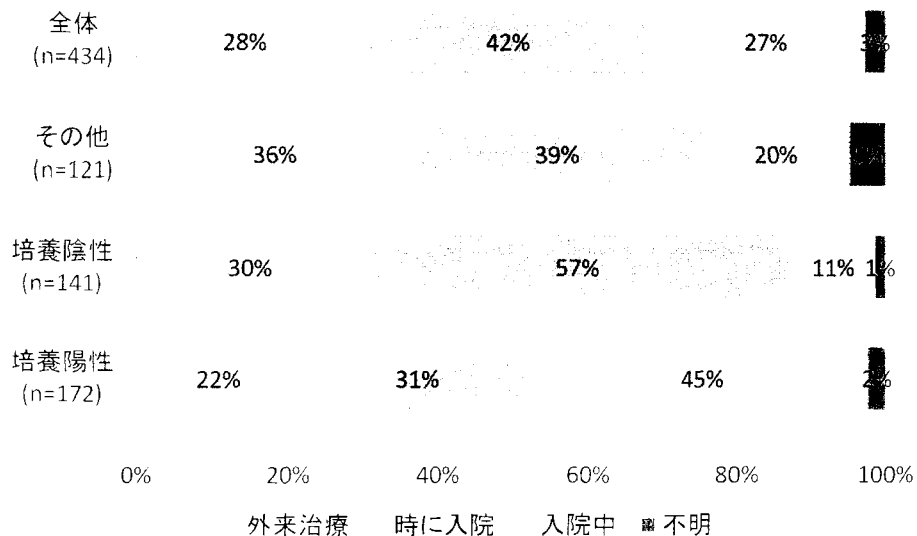
### 図11. INH, RFPに対する薬剤感受性



### 図12. 呼吸機能障害の程度

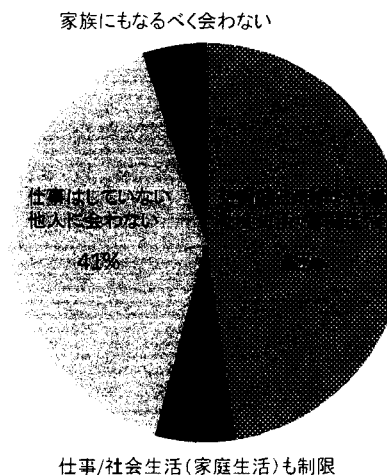


# 図13. 治療状況

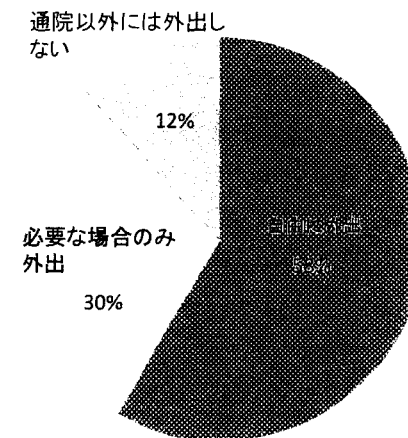


# 図14. 自宅での生活状況(平成18年中)

## 社会生活(n=317)



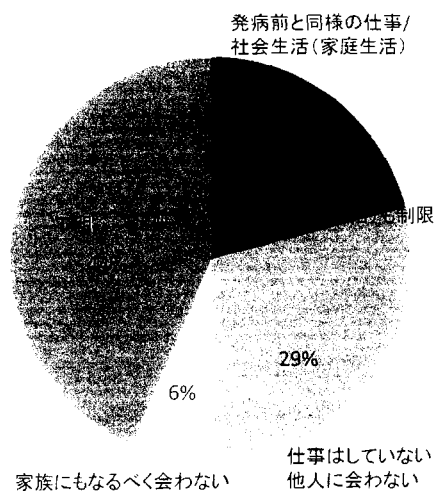
## 外出(n=317)



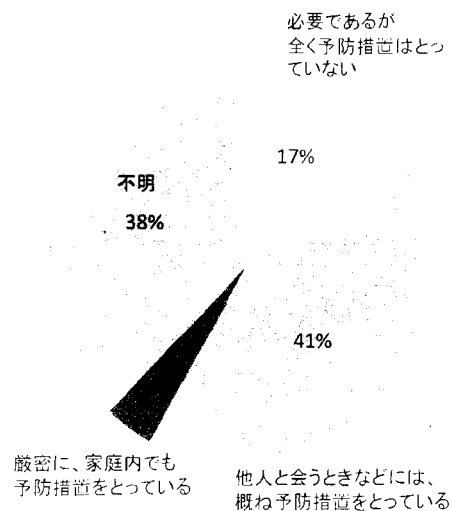
9

# 図15. 培養陽性患者(n=172)

## 社会生活/家庭生活

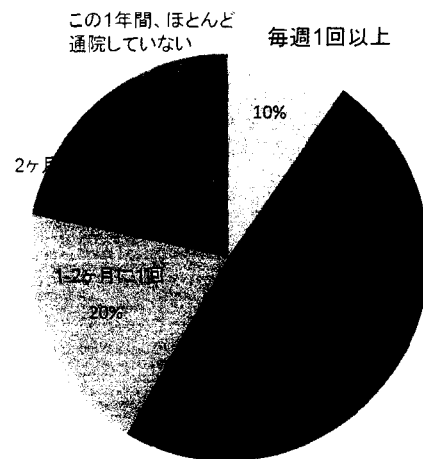


## 感染防止措置

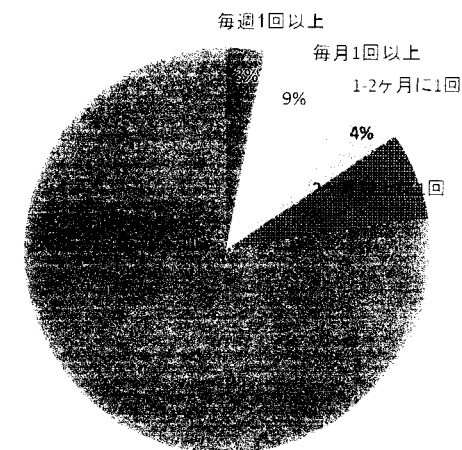


# 図16. 通院・外泊状況

## 通院状況(269名)



## 外泊状況(入院患者129名)



結核登録者数等の推移

年次	結核登録者数			新登録患者数		死亡者数	死亡率 (人口10万対)
	総数	活動性 患者数	全結核 有病率 (人口10万対)	全結核			
				実数	り患率 (人口10万対)		
昭和36年	1,615,099	954,102	1,011.9	419,424	445.9	27,916	29.6
40	1,469,583	929,616	945.8	304,556	309.9	22,366	22.8
45	1,072,013	682,826	657.8	178,940	172.3	15,899	15.4
50	726,862	435,902	389.4	108,088	96.6	10,567	9.5
55	472,356	238,787	204.2	70,916	60.7	6,439	5.5
56	430,993	210,154	178.3	65,867	55.9	5,698	4.9
57	393,261	190,801	160.8	63,940	53.9	5,343	4.5
58	356,377	174,055	145.7	62,021	51.9	5,329	4.5
59	329,103	161,096	134.0	61,521	51.2	4,950	4.1
60	306,262	147,580	121.9	58,567	48.4	4,692	3.9
61	282,084	134,450	110.5	56,690	46.6	4,170	3.4
62	268,146	117,093	95.8	56,496	46.2	4,022	3.3
63	252,146	106,164	86.5	54,357	44.3	3,872	3.2
平成元	238,189	99,524	80.7	53,112	43.1	3,527	2.9
2	223,863	93,443	75.6	51,821	41.9	3,664	3.0
3	210,423	87,464	70.5	50,612	40.8	3,325	2.7
4	202,193	81,116	65.2	48,956	39.3	3,347	2.7
5	191,584	76,675	61.5	47,437	38.0	3,249	2.6
6	181,470	70,781	56.6	44,590	35.7	3,094	2.5
7	168,581	65,167	51.9	43,078	34.3	3,178	2.6
8	132,958	59,760	47.5	42,472	33.7	2,858	2.3
9	121,762	55,409	43.9	42,715	33.9	2,742	2.2
*10	107,058	49,205	38.9	41,033	32.4	2,795	2.2
*11	104,813	48,888	38.6	43,818	34.6	2,935	2.3
*12	99,481	41,971	33.1	39,384	31.0	2,656	2.1
*13	91,395	36,288	28.5	35,489	27.9	2,491	2.0
*14	82,974	32,396	25.4	32,828	25.8	2,317	1.8
*15	77,211	29,717	23.3	31,638	24.8	2,337	1.9
*16	72,079	26,945	21.1	29,736	23.3	2,328	1.8
*17	68,508	23,969	18.8	28,319	22.2	2,296	1.8
*18	65,695	21,976	17.2	26,384	20.6	2,267	1.8
*19	63,556	20,637	16.2	25,311	19.8	2,188	1.7

\*10年以降は、非定型抗酸菌陽性を除いた計数（資料：結核登録者情報調査（平成18年以前は結核発生動向調査））

## 平成19年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）

平成20年9月24日

厚生労働省健康局

担当係：結核感染症課結核対策係

電話：03-5253-1111（内線2381）

03-3595-2263（ダイヤルイン）

本資料は厚生労働省ホームページに掲載する予定です。

掲載場所：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html>

## 【概況】

平成19年 年報のポイント

- 1 新登録結核患者数、罹患率
- 2 結核登録者数、有病者数、有病率
- 3 死亡者数、死亡率、死亡順位

## 【参考資料】

- 1 諸外国と日本の結核罹患率
- 2-1 結核罹患率の都道府県別おもな順位
- 2-2 結核罹患率（前年比）の都道府県別おもな順位
- 3 結核の死亡数及び死亡率の年次推移
- 4-1 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移
- 4-2 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移（菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数、再掲）
- 5-1 年次別・年齢階級別新登録結核患者数
- 5-2 年次別・年齢階級別菌喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数
- 5-3 年次別・年齢階級別新登録潜在性結核感染症（L T B I）治療対象者数
- 5-4 年次別・年齢階級別新登録結核患者に対する新登録L T B I治療対象者の比
- 5-5 年次別・年齢階級別外国籍新登録結核患者数
- 5-6 平成19年 年齢階級別・入国5年以内外国籍新登録結核患者数
- 6-1 年次別・年齢階級別結核罹患率
- 6-2 年次別・年齢階級別菌喀痰塗抹陽性肺結核罹患率
- 7-1 新登録結核患者数 都道府県別・年次推移
- 7-2 結核罹患率 都道府県別・年次推移
- 8 結核登録者数及び有病率の年次推移
- 9 結核死亡数及び死亡率の推移（人口動態統計）
- 10-1 0～14歳のBCG接種状況（小児結核）
- 10-2 0～14歳のBCG接種状況（L T B I登録者）
- 11 前回治療開始年代別再治療者数（割合）
- 12-1 発病から初診までの期間が2か月以上の割合
- 12-2 初診から診断（登録）までの期間が1か月以上の割合
- 12-3 発病から診断（登録）までの期間が3か月以上の割合
- 13 新登録肺結核培養陽性結核患者の薬剤感受性検査結果
- 14 新登録結核患者の糖尿病合併あるいはH I V感染
- 15-1 医療従事者の新登録結核患者数（看護師・保健師）
- 15-2 医療従事者の新登録結核患者数（医師）
- 15-3 医療従事者の新登録結核患者数（その他）
- 16 無職臨時日雇等の新登録結核患者数

## 平成19年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）

- 本年報は、全国の保健所を通じて報告される結核登録者の状況（平成19年1月1日～12月31日）を取りまとめたものである。

### 平成19年 年報のポイント

- 結核罹患率は20を下まわったが、未だ2万5千人以上の患者の発生がある。

（参考資料 4、5、6 参照）

新登録結核患者数 25,311人

罹患率（人口10万人対の新登録結核患者数） 19.8 （対前年比0.8減）

- 70歳以上の高齢結核患者は新登録結核患者の半数に近づきつつあり、その割合は増加傾向にある。

（参考資料 5-1 参照）

70歳以上の新登録結核患者の占める割合 47.9%（H18 47.0%、H17 44.9%、H16 43.9%）

- 働き盛りの感染性のある結核患者では、受診の遅れ（2か月以上の割合）は依然大きい。

（参考資料 12 参照）

全年齢有症状肺結核 18.0% 30-59歳有症状喀痰塗抹陽性肺結核 32.1%

- 20歳代の新登録結核患者の約5人に1人は外国籍結核患者であり、その割合は増加傾向にある。

（参考資料 5-1、5-5 参照）

20-29歳新登録結核患者数 1,924人

外国籍結核患者数 390人（20.3%）（H18 19.8%、H17 16.4%、H16 15.9%）

- 結核罹患率の地域格差は依然大きく、大都市で高い。（参考資料 2、7 参照）

大阪市（52.9）、名古屋市（30.6）、東京都特別区（29.3）の罹患率は、それぞれ長野県（10.3）の5.1倍、3.0倍、2.8倍である。

- 世界的に見て、日本は依然として結核中まん延国である。（参考資料 1 参照）

日本の罹患率（19.8）は、カナダ（4.4）の4.5倍、  
米国（4.5）の4.4倍、スウェーデン（5.4）の3.7倍。

## 1 新登録結核患者数、罹患率（参考資料 4 参照）

- ・平成19年中に新たに結核患者として登録された者の数は25,311人で、前年より1,073人減少している。
- ・罹患率は19.8であり、前年の20.6より0.8減少し減少傾向は続いているが、平成19年はやや減速（H17からH18は1.6減少）している。
- ・菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数は10,204人で、前年より288人の減少である。菌喀痰塗抹陽性肺結核患者が新登録結核患者数に占める割合は40.3%で前年より0.5ポイント大きくなっている。

区 分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
新登録結核患者数	31,638人	29,736人	28,319人	26,384人	25,311人
罹患率（人口10万対）	24.8	23.3	22.2	20.6	19.8
菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	11,857人	11,445人	11,318人	10,492人	10,204人
新登録結核患者数に占める割合	37.5%	38.5%	40.0%	39.8%	40.3%

- ・都道府県別に罹患率をみると、大阪府、東京都、長崎県の順に高く、長野県、宮城県、山形県の順に低い。罹患率の一番高い大阪府は、罹患率の一番低い長野県の3.3倍、大阪府の中でも大阪市は長野県の5.1倍であり、地域格差は依然大きい。

（参考資料 2、7 参照）

## 2 結核登録者数、有病者数、有病率（参考資料 8 参照）

- ・平成19年末現在の結核登録者数は63,556人であり、前年より2,139人減少している。うち、活動性全結核患者数は20,637人であり、前年より1,339人減少している。有病率は16.2であり、前年の17.2より1.0減少している。

区 分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
結核登録者数	77,211人	72,079人	68,508人	65,695人	63,556人
活動性全結核患者数	29,717人	26,945人	23,969人	21,976人	20,637人
有病率（人口10万対）	23.3	21.1	18.8	17.2	16.2

## 3 死亡者数、死亡率、死亡順位（参考資料 3、9 参照）

- ・平成19年中の結核による死亡者数は2,188人で、前年の2,269人に比べ81人減少、死亡率は前年より0.1減少し1.7となっている。死因順位は、27位である。

## 年次別結核の統計（結核登録者情報調査年報集計結果）〈参考資料〉

### 1. 諸外国と日本の結核罹患率

国名	罹患率	年次
カナダ	4.4	2006
米 国	4.5	2006
スウェーデン	5.4	2006
オーストラリア	5.6	2006
ドイツ	6.1	2006
オランダ	6.1	2006
デンマーク	6.3	2006
イタリア	7.1	2006
フランス	7.9	2006
英 国	13.5	2006
日 本	19.8	2007

（諸外国のデータは、Global Tuberculosis Control WHO Report 2008 より）

### 2-1. 結核罹患率の都道府県別おもな順位

	都道府県名	罹患率
罹患率の低い5県	長野県	10.3
	宮城県	11.5
	山形県	11.9
	山梨県	12.0
	岩手県	12.1
罹患率の高い5県	大阪府	33.7
	東京都	25.9
	長崎県	24.6
	和歌山県	23.5
	愛知県	22.9

### 2-2. 結核罹患率(前年比)の都道府県別おもな順位

	都道府県名	罹患率(前年比)
前年比で罹患率の減少が大きい県	奈良県	△4.6
	大分県	△3.7
	鳥取県	△3.2
	兵庫県	△3.0
	静岡県	△2.7
前年比で罹患率の増加が大きい県	佐賀県	3.4
	和歌山県	2.3
	岡山県	1.2
	愛媛県	1.1
	石川県	1.1



### 3. 結核の死亡数及び死亡率の年次推移

年次	死亡順位	死亡数	死亡率
昭和25年	1位	121,769	146.4
"  30年	5位	46,735	52.3
"  35年	7位	31,959	34.2
"  40年	7位	22,366	22.8
"  45年	8位	15,899	15.4
"  50年	10位	10,567	9.5
"  55年	13位	6,439	5.5
"  60年	16位	4,692	3.9
平成元年	18位	3,527	2.9
"  2年	17位	3,664	3.0
"  3年	20位	3,325	2.7
"  4年	21位	3,347	2.7
"  5年	21位	3,249	2.6
"  6年	23位	3,094	2.5
"  7年	23位	3,178	2.6
"  8年	22位	2,858	2.3
"  9年	22位	2,742	2.2
" 10年	22位	2,795	2.2
" 11年	21位	2,935	2.3
" 12年	24位	2,656	2.1
" 13年	25位	2,491	2.0
" 14年	25位	2,317	1.8
" 15年	25位	2,337	1.9
" 16年	25位	2,330	1.8
" 17年	25位	2,296	1.8
" 18年	26位	2,269	1.8
" 19年	27位	2,188	1.7

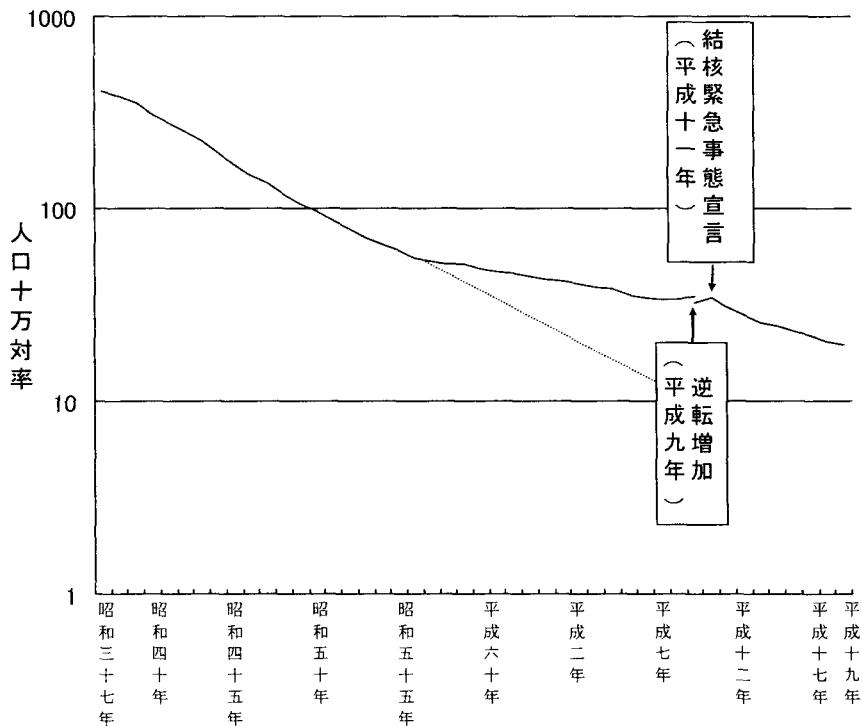
(注) 死亡率は人口10万対 平成19年は概数

4-1. 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移

区 分	全 結 核				全 結 核			
	実数/前年比		罹患率(人口10万対) /前年比		実数/前年比		罹患率(人口10万対) /前年比	
平成4年					48,956		39.3	
平成5年					47,437	△1,519	38.0	△1.3
平成6年					44,590	△2,847	35.7	△2.3
平成7年					43,078	△1,512	34.3	△1.4
平成8年					42,472	△ 606	33.7	△0.6
平成9年					42,715	243	33.9	0.2
平成10年	41,033		32.4		44,016	1,301	34.8	0.9
平成11年	43,818	2,785	34.6	2.2				
平成12年	39,384	△4,434	31.0	△3.6				
平成13年	35,489	△3,895	27.9	△3.1				
平成14年	32,828	△2,661	25.8	△2.1				
平成15年	31,638	△1,190	24.8	△1.0				
平成16年	29,736	△1,902	23.3	△1.5				
平成17年	28,319	△1,417	22.2	△1.1				
平成18年	26,384	△1,935	20.6	△1.6				
平成19年	25,311	△1,073	19.8	△0.8				

平成10年以降は新分類

結核罹患率の推移(全結核)



4-2. 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移（菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数、再掲）

区 分	菌 喀 痰 塗 抹 陽 性 肺 結 核 (再掲)		菌 喀 痰 塗 抹 陽 性 患 者 の 割 合 (%/全 結核)	菌 痰 塗 抹 陽 性 肺 結 核 (再掲)		菌 塗 抹 陽 性 患 者 の 割 合 ( % / 全 結 核 )
	実数/前年比	罹患率 (人口10万対)/ 前年比		実数/前年比	罹患率 (人口10万対)/ 前年比	
平成4年				15,540		31.7
平成5年				15,210	△ 330	32.1
平成6年				14,777	△ 433	33.1
平成7年				15,103	326	35.1
平成8年				15,035	△ 68	35.4
平成9年				15,967	932	37.4
平成10年	13,405	10.6	32.7	16,294	327	37.0
平成11年	14,482	△ 1,077	11.4 0.8			
平成12年	13,220	△ 1,262	10.4 △1.0			
平成13年	12,656	△ 564	9.9 △0.5			
平成14年	11,933	△ 723	9.4 △0.5			
平成15年	11,857	△ 76	9.3 △0.1			
平成16年	11,445	△ 412	9.0 △0.3			
平成17年	11,318	△ 127	8.9 △0.1			
平成18年	10,492	△ 826	8.2 △0.7			
平成19年	10,204	△ 288	8.0 △0.2			

平成10年以降は新分類

5-1. 年次別・年齢階級別新登録結核患者数

( ( ) 内は構成比)

区 分	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
総 数	31,638(100.0)	29,736(100.0)	28,319(100.0)	26,384(100.0)	25,311(100.0)
0～4 歳	72( 0.2)	62( 0.2)	56( 0.1)	35( 0.1)	47( 0.2)
5～9 歳	24( 0.1)	19( 0.1)	22( 0.1)	18( 0.1)	19( 0.1)
10～14 歳	31( 0.1)	36( 0.1)	39( 0.1)	32( 0.1)	26( 0.1)
15～19 歳	306( 1.0)	302( 1.0)	284( 1.0)	214( 0.8)	201( 0.8)
20～29 歳	2,798( 8.8)	2,528( 8.5)	2,303( 8.1)	2,069( 7.8)	1,924( 7.6)
30～39 歳	2,803( 8.9)	2,738( 9.2)	2,677( 9.5)	2,417( 9.2)	2,308( 9.1)
40～49 歳	2,457( 7.8)	2,346( 7.9)	2,220( 7.8)	2,037( 7.7)	1,935( 7.6)
50～59 歳	4,428( 14.0)	3,991( 13.4)	3,676( 13.0)	3,336( 12.6)	3,035( 12.0)
60～69 歳	5,133( 16.2)	4,656( 15.7)	4,328( 15.3)	3,837( 14.5)	3,694( 14.6)
70～79 歳	7,293( 23.1)	6,833( 23.0)	6,332( 22.4)	6,109( 23.2)	5,659( 22.4)
80 歳以上	6,293( 19.9)	6,225( 20.9)	6,382( 22.5)	6,280( 23.8)	6,463( 25.5)

5-2. 年次別・年齢階級別菌喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数

( ( ) 内は構成比)

区 分	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
総 数	11,857(100.0)	11,445(100.0)	11,318(100.0)	10,492(100.0)	10,204(100.0)
0～4 歳	1( 0.0)	1( 0.0)	1( 0.0)	1( 0.0)	1( 0.0)
5～9 歳	0( 0.0)	0( 0.0)	2( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)
10～14 歳	2( 0.0)	7( 0.1)	3( 0.0)	5( 0.1)	3( 0.0)
15～19 歳	66( 0.6)	78( 0.7)	72( 0.6)	53( 0.5)	52( 0.5)
20～29 歳	826( 7.0)	720( 6.3)	689( 6.1)	608( 5.8)	580( 5.7)
30～39 歳	898( 7.6)	886( 7.7)	875( 7.7)	781( 7.4)	768( 7.5)
40～49 歳	929( 7.8)	886( 7.7)	876( 7.7)	785( 7.5)	767( 7.5)
50～59 歳	1,838( 15.5)	1,707( 14.9)	1,563( 13.8)	1,431( 13.6)	1,270( 12.4)
60～69 歳	1,936( 16.3)	1,841( 16.1)	1,793( 15.8)	1,570( 15.0)	1,504( 14.7)
70～79 歳	2,718( 22.9)	2,686( 23.5)	2,601( 23.0)	2,458( 23.4)	2,299( 22.5)
80 歳以上	2,643( 22.3)	2,633( 23.0)	2,843( 25.1)	2,800( 26.7)	2,960( 29.0)

### 5-3. 年次別・年齢階級別新登録潜在性結核感染症(LTBI)治療対象者数

( ) 内は構成比

区 分	平成 19 年
総 数	2,959(100.0)
0～4 歳	617( 20.9)
5～9 歳	217( 7.3)
10～14 歳	217( 7.3)
15～19 歳	300( 10.1)
20～29 歳	848( 28.7)
30～39 歳	325( 11.0)
40～49 歳	234( 7.9)
50～59 歳	111( 3.8)
60～69 歳	53( 1.8)
70～79 歳	25( 0.8)
80 歳以上	12( 0.4)

### 5-4. 年次別・年齢階級別新登録結核患者に対する新登録LTBI治療対象者の比

(比：新登録LTBI者数／新登録結核患者数)

区 分	平成 19 年
総 数	0.1
0～4 歳	13.1
5～9 歳	11.4
10～14 歳	8.3
15～19 歳	1.5
20～29 歳	0.4
30～39 歳	0.1
40～49 歳	0.1
50～59 歳	0.0
60～69 歳	0.0
70～79 歳	0.0
80 歳以上	0.0

5-5. 年次別・年齢階級別外国籍新登録結核患者数

( ) 内は新登録に占める割合

	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
総 数	906 ( 2.9)	931 ( 3.1)	923 ( 3.3)	920 ( 3.5)	842 ( 3.3)
0~4 歳	7 ( 9.7)	2 ( 3.2)	5 ( 8.9)	4 (11.4)	3 ( 6.4)
5~9 歳	2 ( 8.3)	2 (10.5)	0 ( 0.0)	1 ( 5.6)	3 (15.8)
10~14 歳	3 ( 9.7)	2 ( 5.6)	4 (10.3)	1 ( 3.1)	3 (11.5)
15~19 歳	22 ( 7.2)	30 ( 9.9)	33 (11.6)	33 (15.4)	32 (15.9)
20~29 歳	399 (14.3)	402 (15.9)	378 (16.4)	409 (19.8)	390 (20.3)
30~39 歳	268 ( 9.6)	250 ( 9.1)	273 (10.2)	234 ( 9.7)	224 ( 9.7)
40~49 歳	98 ( 4.0)	107 ( 4.6)	105 ( 4.7)	113 ( 5.5)	102 ( 5.3)
50~59 歳	38 ( 0.9)	59 ( 1.5)	62 ( 1.7)	59 ( 1.8)	43 ( 1.4)
60~69 歳	22 ( 0.4)	28 ( 0.6)	26 ( 0.6)	35 ( 0.9)	15 ( 0.4)
70~79 歳	27 ( 0.4)	27 ( 0.4)	16 ( 0.3)	11 ( 0.2)	12 ( 0.2)
80 歳以上	20 ( 0.3)	22 ( 0.4)	21 ( 0.3)	20 ( 0.3)	15 ( 0.2)

5-6. 平成19年 年齢階級別・入国5年以内外国籍新登録結核患者数

( ) 内は全外国籍新登録患者に占める割合

	平成 19 年
総 数	450 (53.4)
0~4 歳	2 (66.7)
5~9 歳	3 (100.0)
10~14 歳	1 (33.3)
15~19 歳	24 (75.0)
20~29 歳	266 (68.2)
30~39 歳	111 (49.6)
40~49 歳	28 (27.5)
50~59 歳	8 (18.6)
60~69 歳	4 (26.7)
70~79 歳	3 (25.0)
80 歳以上	0 ( 0.0)

## 6-1. 年次別・年齢階級別結核罹患率

(人口10万対)

区 分	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	年平均 減少率(%)
総 数	24.8	23.3	22.2	20.6	19.8	-5.5
0～4歳	1.2	1.1	1.0	0.6	0.9	-1.9
5～9歳	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	-4.2
10～14歳	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4	-4.2
15～19歳	4.4	4.5	4.4	3.3	3.2	-7.0
20～29歳	16.5	15.3	15.4	13.5	12.8	-6.0
30～39歳	15.4	14.8	14.9	12.8	12.3	-5.3
40～49歳	15.6	14.9	14.0	13.0	12.1	-6.1
50～59歳	23.1	21.1	18.9	17.3	16.4	-8.2
60～69歳	32.7	29.1	26.2	24.3	22.6	-8.8
70～79歳	64.8	59.1	50.9	50.0	45.3	-8.5
80歳以上	111.4	104.3	96.0	93.0	90.5	-5.0

## 6-2. 年次別・年齢階級別菌喀痰塗抹陽性肺結核罹患率 (人口10万対)

区 分	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	年平均 減少率(%)
総 数	9.3	9.0	8.9	8.2	8.0	-3.7
0～4歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5～9歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
10～14歳	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	
15～19歳	0.9	1.2	1.1	0.8	0.8	-0.6
20～29歳	4.9	4.4	4.6	4.0	3.9	-5.3
30～39歳	4.9	4.8	4.9	4.1	4.1	-4.1
40～49歳	5.9	5.6	5.5	5.0	4.8	-5.0
50～59歳	9.6	9.0	8.0	7.4	6.9	-7.9
60～69歳	12.3	11.5	10.9	10.0	9.2	-7.0
70～79歳	24.1	23.2	20.9	20.1	18.4	-6.5
80歳以上	46.8	44.1	42.8	41.5	41.5	-2.9

7-1. 新登録結核患者数 都道府県別・年次推移

都道府県名	新登録結核患者数(人)					備考	(再掲)菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数(人)				
	15年	16年	17年	18年	19年		15年	16年	17年	18年	19年
北海道	958	908	830	717	747	↑	339	334	326	301	291
青森	348	326	281	268	232		101	112	123	103	75
岩手	239	197	195	181	165	○5	71	67	59	78	57
宮城	385	366	284	281	270	○2	144	143	114	112	123
秋田	180	178	176	166	149		55	60	62	64	59
山形	179	128	163	155	143	○3	67	58	75	61	66
福島	374	335	281	261	254		137	115	97	98	86
茨城	629	572	503	524	456		226	220	178	181	186
栃木	360	343	358	299	259		137	124	150	128	122
群馬	350	307	296	276	283	↑	145	120	119	103	129
埼玉	1,520	1,413	1,341	1,244	1,299	↑	624	579	569	514	539
千葉	1,399	1,307	1,351	1,228	1,147		545	528	555	493	456
東京	4,029	3,764	3,753	3,351	3,305	△2	1,635	1,513	1,513	1,297	1,326
神奈川	1,961	1,941	1,869	1,757	1,654		778	767	806	689	678
新潟	462	416	365	373	322		132	124	151	145	108
富山	212	217	204	199	200	↑	58	77	68	66	69
石川	239	234	205	190	202	↑	91	85	85	69	79
福井	158	160	139	141	136		45	61	48	57	51
山梨	109	108	129	115	105	○4	42	37	47	53	45
長野	264	230	235	259	225	○1	92	112	84	92	90
岐阜	566	537	508	478	472		194	199	195	198	194
静岡	852	874	735	765	662		324	307	293	284	255
愛知	1,944	1,811	1,835	1,603	1,682	↑△5	763	746	742	650	619
三重	406	367	350	357	342		140	143	137	145	158
滋賀	274	271	235	209	219	↑	122	111	111	74	101
京都	789	675	662	613	602		264	274	283	268	228
大阪	3,880	3,627	3,382	3,180	2,969	△1	1,488	1,429	1,423	1,395	1,331
兵庫	1,756	1,623	1,529	1,435	1,271		643	586	569	568	517
奈良	379	350	324	318	253		123	112	123	150	127
和歌山	280	247	267	218	240	↑△4	103	89	99	89	88
鳥取	117	127	122	111	91		49	53	43	35	34
島根	150	129	129	129	116		34	46	54	59	48
岡山	373	404	313	328	352	↑	126	151	131	139	157
広島	507	497	528	447	472	↑	190	180	209	207	206
山口	367	309	287	298	275		157	125	135	112	124
徳島	205	183	195	193	177		72	78	68	62	74
香川	256	221	260	218	191		95	86	86	73	62
愛媛	283	271	270	269	283	↑	102	87	104	99	95
高知	193	184	172	154	151		55	64	71	55	60
福岡	1,398	1,295	1,123	1,058	1,026		521	484	436	417	403
佐賀	196	237	199	143	172	↑	57	85	72	50	75
長崎	449	365	346	387	357	△3	161	120	119	126	112
熊本	397	386	389	361	350		151	149	173	130	132
大分	281	275	266	276	231		116	103	101	95	85
宮崎	221	219	188	202	188		85	114	79	93	83
鹿児島	435	463	437	364	362		131	169	143	117	126
沖縄	329	339	310	285	252		127	119	90	98	75
指定都市(再掲)											
札幌	303	281	290	216	245	↑	125	129	133	99	100
仙台	134	148	130	125	130	↑	51	63	49	53	53
さいたま	267	259	250	218	237	↑	108	114	114	92	90
千葉	231	213	198	198	174		78	73	85	76	69
横浜	928	906	860	766	717		372	334	352	273	286
川崎	340	363	332	351	315		122	150	149	142	151
新潟					109						43
静岡				135	121					55	58
浜松					151						53
名古屋	812	795	760	700	685		350	374	347	298	249
京都	494	428	407	366	382	↑	166	185	179	157	152
大阪	1,789	1,627	1,545	1,501	1,399		694	682	663	693	683
堺					232						108
神戸	562	548	527	494	417		189	181	172	173	170
広島	239	166	208	167	173	↑	54	62	95	77	73
北九州	322	278	268	203	211	↑	115	112	111	79	84
福岡	324	337	314	308	303		116	129	124	124	118
東京都特別区	3,032	2,915	2,874	2,542	2,535		1,268	1,180	1,159	983	1,016
全国	31,638	29,736	28,319	26,384	25,311		11,857	11,445	11,318	10,492	10,204

(注)備考欄において「↑」は19年の新登録数が18年を上回ったもの、「○1」は罹患率下位1位を、「△1」は罹患率上位1位を表す。



7-2. 結核罹患率 都道府県別・年次推移

都道府県名	罹患率(人口10万対)					備考	(再掲)菌陰性陽性肺結核罹患率(人口10万対)				
	15年	16年	17年	18年	19年		15年	16年	17年	18年	19年
北海道	16.9	16.1	14.7	12.8	13.4	↑	6.0	5.9	5.8	5.4	5.2
青森	23.8	22.4	19.6	18.8	16.5		6.9	7.7	8.6	7.2	5.3
岩手	17.1	14.1	14.1	13.2	12.1	○5	5.1	4.8	4.3	5.7	4.2
宮城	16.2	15.4	12.0	11.9	11.5	○2	6.1	6.0	4.8	4.8	5.2
秋田	15.4	15.4	15.4	14.6	13.3		4.7	5.2	5.4	5.6	5.3
山形	14.6	10.5	13.4	12.8	11.9	○3	5.4	4.7	6.2	5.1	5.5
福島	17.7	15.9	13.4	12.5	12.3		6.5	5.5	4.6	4.7	4.2
茨城	21.0	19.1	16.9	17.6	15.4		7.6	7.4	6.0	6.1	6.3
栃木	17.9	17.0	17.8	14.8	12.9		6.8	6.2	7.4	6.4	6.1
群馬	17.2	15.1	14.6	13.7	14.0	↑	7.1	5.9	5.9	5.1	6.4
埼玉	21.6	20.1	19.0	17.6	18.3	↑	8.9	8.2	8.1	7.3	7.6
千葉	23.2	21.6	22.3	20.2	18.8		9.0	8.7	9.2	8.1	7.5
東京	32.7	30.4	29.9	26.5	25.9	△2	13.3	12.2	12.0	10.2	10.4
神奈川	22.6	22.2	21.3	19.9	18.6		9.0	8.8	9.2	7.8	7.6
新潟	18.8	17.0	15.0	15.4	13.4		5.4	5.1	6.2	6.0	4.5
富山	19.0	19.4	18.4	17.9	18.1	↑	5.2	6.9	6.1	5.9	6.2
石川	20.3	19.9	17.5	16.2	17.3	↑	7.7	7.2	7.2	5.9	6.8
福井	19.1	19.4	16.9	17.2	16.7		5.4	7.4	5.8	7.0	6.3
山梨	12.3	12.2	14.6	13.1	12.0	○4	4.7	4.2	5.3	6.0	5.1
長野	11.9	10.4	10.7	11.8	10.3	○1	4.2	5.1	3.8	4.2	4.1
岐阜	26.8	25.5	24.1	22.7	22.4		9.2	9.4	9.3	9.4	9.2
静岡	22.5	23.0	19.4	20.1	17.4		8.5	8.1	7.7	7.5	6.7
愛知	27.2	25.2	25.3	21.9	22.9	↑△5	10.7	10.4	10.2	8.9	8.4
三重	21.8	19.7	18.7	19.1	18.2		7.5	7.7	7.3	7.7	8.4
滋賀	20.1	19.8	17.0	15.0	15.7	↑	8.9	8.1	8.0	5.3	7.2
京都	29.9	25.6	25.0	23.2	22.8		10.0	10.4	10.7	10.1	8.7
大阪	44.0	41.2	38.4	36.1	33.7	△1	16.9	16.2	16.1	15.8	15.1
兵庫	31.4	29.0	27.4	25.7	22.7		11.5	10.5	10.2	10.2	9.3
奈良	26.4	24.5	22.8	22.5	17.9		8.6	7.8	8.7	10.6	9.0
和歌山	26.5	23.5	25.8	21.2	23.5	↑△4	9.8	8.5	9.6	8.7	8.6
鳥取	19.2	20.8	20.1	18.4	15.2		8.0	8.7	7.1	5.8	5.7
島根	19.9	17.2	17.4	17.5	15.9		4.5	6.1	7.3	8.0	6.6
岡山	19.1	20.7	16.0	16.8	18.0	↑	6.5	7.7	6.7	7.1	8.0
広島	17.6	17.3	18.4	15.5	16.4	↑	6.6	6.3	7.3	7.2	7.2
山口	24.3	20.5	19.2	20.1	18.7		10.4	8.3	9.0	7.6	8.4
徳島	25.1	22.5	24.1	24.0	22.1		8.8	9.6	8.4	7.7	9.3
香川	25.1	21.7	25.7	21.6	19.0		9.3	8.4	8.5	7.2	6.2
愛媛	19.1	18.3	18.4	18.4	19.5	↑	6.9	5.9	7.1	6.8	6.5
高知	23.9	22.9	21.6	19.5	19.3		6.8	8.0	8.9	7.0	7.7
福岡	27.7	25.6	22.2	20.9	20.3		10.3	9.6	8.6	8.3	8.0
佐賀	22.5	27.3	23.0	16.6	20.0	↑	6.5	9.8	8.3	5.8	8.7
長崎	29.9	24.4	23.4	26.4	24.6	△3	10.7	8.0	8.0	8.6	7.7
熊本	21.4	20.8	21.1	19.7	19.1		8.1	8.0	9.4	7.1	7.2
大分	23.1	22.6	22.0	22.9	19.2		9.5	8.5	8.3	7.9	7.1
宮崎	19.0	18.9	16.3	17.6	16.5		7.3	9.8	6.9	8.1	7.3
鹿児島	24.5	26.2	24.9	20.9	20.9		7.4	9.6	8.2	6.7	7.3
沖縄	24.4	24.9	22.8	20.8	18.4		9.4	8.8	6.6	7.2	5.5
指定都市(再掲)											
札幌	16.3	15.0	15.4	11.4	12.9	↑	6.7	6.9	7.1	5.2	5.3
仙台	13.1	14.4	12.7	12.2	12.6	↑	5.0	6.1	4.8	5.2	5.2
さいたま	25.2	24.3	21.3	18.4	19.8	↑	10.2	10.7	9.7	7.8	7.5
千葉	25.3	23.2	21.4	21.3	18.6		8.5	7.9	9.2	8.2	7.4
横浜	26.3	25.5	24.0	21.3	19.8		10.5	9.4	9.8	7.6	7.9
川崎	26.3	27.8	25.0	26.1	23.0		9.4	11.5	11.2	10.6	11.0
新潟					13.4						5.3
静岡				19.0	17.0					7.7	8.2
浜松					18.6						6.5
名古屋	37.0	36.1	34.3	31.5	30.6		16.0	17.0	15.7	13.4	11.1
京都	33.7	29.2	27.6	24.9	26.0	↑	11.3	12.6	12.1	10.7	10.4
大阪	68.1	61.8	58.8	57.0	52.9		26.4	25.9	25.2	26.3	25.8
堺					27.8						12.9
神戸	35.9	36.1	34.5	32.3	27.3		12.5	11.9	11.3	11.3	11.1
広島	14.3	14.5	18.0	14.4	14.9	↑	4.7	5.4	8.2	6.7	6.3
北九州	28.1	27.8	27.0	20.5	21.4	↑	11.5	11.2	11.2	8.0	8.5
福岡	23.2	24.2	22.4	21.8	21.2		8.4	9.3	8.9	8.8	8.3
東京都特別区	37.5	34.7	33.9	29.8	29.3		15.2	14.1	13.7	11.5	11.7
全国	24.8	23.3	22.2	20.6	19.8		9.3	9	8.9	8.2	8.0

注)備考欄において「↑」は19年の罹患率が18年を上回ったもの、「○1」は罹患率下位1位を、「△1」は罹患率上位1位を表す

## 8. 結核登録者数及び有病率の年次推移

区 分	登録者総数／前年比		活 動 性 全 結 核			
			患者数／前年比		有病率(人口10万対) /前年比	
平成 6 年	181,470	△10,114	70,781	△5,894	56.6	△4.9
平成 7 年	168,581	△12,889	65,167	△5,614	51.9	△4.7
平成 8 年	132,958	△35,623	59,760	△5,407	47.5	△4.4
平成 9 年	121,762	△11,196	55,409	△4,351	43.9	△3.6
平成10年	107,058		49,205		38.9	
平成11年	104,813	△ 2,245	48,888	△ 317	38.6	△0.3
平成12年	99,481	△ 5,332	41,971	△6,917	33.1	△5.5
平成13年	91,395	△ 8,086	36,288	△5,683	28.5	△4.6
平成14年	82,974	△ 8,421	32,396	△3,892	25.4	△3.1
平成15年	77,211	△ 5,763	29,717	△2,679	23.3	△2.1
平成16年	72,079	△ 5,132	26,945	△2,772	21.1	△2.2
平成17年	68,508	△ 3,571	23,969	△2,976	18.8	△2.3
平成18年	65,695	△ 2,813	21,976	△1,993	17.2	△1.6
平成19年	63,556	△ 2,139	20,637	△1,339	16.2	△1.0

## 9. 結核死亡数及び死亡率の推移（人口動態統計）

区 分	死亡数／前年比		死亡率（人口10万対）	
			/前年比	
平成 6 年	3,094	△155	2.5	△0.1
平成 7 年	3,178	84	2.6	0.1
平成 8 年	2,858	△320	2.3	△0.3
平成 9 年	2,742	△116	2.2	△0.1
平成10年	2,795	53	2.2	0.0
平成11年	2,935	140	2.3	0.1
平成12年	2,656	△279	2.1	△0.2
平成13年	2,491	△165	2.0	△0.1
平成14年	2,317	△174	1.8	△0.2
平成15年	2,337	19	1.9	0.1
平成16年	2,330	△7	1.8	△0.1
平成17年	2,296	△34	1.8	0.0
平成18年	2,269	△27	1.8	0.0
平成19年	2,188	△81	1.7	△0.1

10-1. 0～14歳のBCG接種状況（小児結核）

年齢	人数	BCG歴あり(%)	年齢(歳)	人数	BCG歴あり(%)	年齢(月)	人数	BCG歴あり(%)
総数	92	56 (60.9)						
0～4歳	47	30 (63.8)	0歳	21	9 (42.9)	1か月	1	0 (0.0)
						2か月	1	0 (0.0)
						3か月	4	1 (25.0)
						4か月	1	0 (0.0)
						5か月	6	2 (33.3)
						6か月	3	2 (66.6)
						7か月	1	1 (100.0)
						8か月	2	2 (100.0)
						10か月	2	1 (50.0)
			1歳	5	5 (100.0)			
			2歳	7	6 (85.7)			
			3歳	12	9 (75.0)			
			4歳	2	1 (50.0)			
5～9歳	19	11 (57.9)						
10～14歳	26	15 (57.7)						

10-2. 0～14歳のBCG接種状況（LTBI登録者）

年齢	人数	BCG歴あり(%)	年齢(歳)	人数	BCG歴あり(%)	年齢(月)	人数	BCG歴あり(%)
総数	1,051	728 (69.3)						
0～4歳	617	371 (60.1)	0歳	341	127 (37.2)	0か月	22	1 (4.5)
						1か月	48	0 (0.0)
						2か月	35	0 (0.0)
						3か月	24	0 (0.0)
						4か月	81	30 (37.0)
						5か月	56	30 (53.6)
						6か月	19	16 (84.2)
						7か月	12	11 (91.7)
						8か月	8	8 (100.0)
						9か月	11	8 (72.7)
						10か月	12	11 (91.7)
						11か月	13	12 (92.3)
			2歳	67	59 (88.1)			
			3歳	76	68 (89.5)			
			4歳	54	49 (90.7)			
5～9歳	217	179 (82.5)						
10～14歳	217	178 (82.0)						

## 1.1. 前回治療開始年代別再治療者数（割合）

前回治療開始年代別再治療者数

（再掲）前回治療開始年が2000年代の再治療者数

	人数 (%)		人数 (%)
総数	1,685 (100.0)		
1940年代以前	161 ( 9.6)	2000年	40 ( 2.4)
1950年代	239 (14.2)	2001年	63 ( 3.7)
1960年代	122 ( 7.2)	2002年	62 ( 3.7)
1970年代	79 ( 4.7)	2003年	112 ( 6.6)
1980年代	121 ( 7.2)	2004年	113 ( 6.7)
1990年代	223 (13.2)	2005年	166 ( 9.9)
2000年代	731 (43.4)	2006年	159 ( 9.4)
不明	9 ( 0.5)	2007年	16 ( 0.9)

（注）前回治療開始年は、登録情報あるいは本人・家族等への問診による

### 12-1. 発病から初診までの期間が2か月以上の割合

有症状肺結核

	発病～初診までの期間が 2か月以上の割合(%)
平成10年	20.2
平成11年	19.5
平成12年	19.6
平成13年	19.2
平成14年	19.3
平成15年	18.8
平成16年	18.8
平成17年	18.2
平成18年	19.4
平成19年	18.0

(再掲) 30-59歳有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核

	発病～初診までの期間が 2か月以上の割合(%)
平成10年	32.9
平成11年	32.4
平成12年	32.9
平成13年	32.0
平成14年	34.2
平成15年	32.3
平成16年	31.6
平成17年	31.4
平成18年	33.2
平成19年	32.1

### 12-2. 初診から診断(登録)までの期間が1か月以上の割合

有症状肺結核

	初診～診断までの期間が 1か月以上の割合(%)
平成10年	29.9
平成11年	30.5
平成12年	28.2
平成13年	26.8
平成14年	27.2
平成15年	26.0
平成16年	25.0
平成17年	25.7
平成18年	24.3
平成19年	21.7

(再掲) 30-59歳有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核

	初診～診断までの期間が 1か月以上の割合(%)
平成10年	16.9
平成11年	17.0
平成12年	14.6
平成13年	14.4
平成14年	15.1
平成15年	14.6
平成16年	14.1
平成17年	14.6
平成18年	13.9
平成19年	13.2

平成10年～18年までは初診から登録までの期間、平成19年は初診から診断までの期間

### 12-3. 発病から診断(登録)までの期間が3か月以上の割合

有症状肺結核

	発病～診断までの期間が 3か月以上の割合(%)
平成10年	24.6
平成11年	23.7
平成12年	22.3
平成13年	21.7
平成14年	21.5
平成15年	21.0
平成16年	20.3
平成17年	19.7
平成18年	20.7
平成19年	18.5

(再掲) 30-59歳有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核患者

	発病～診断までの期間が 3か月以上の割合(%)
平成10年	31.1
平成11年	30.5
平成12年	29.9
平成13年	28.4
平成14年	30.3
平成15年	29.3
平成16年	28.2
平成17年	28.7
平成18年	29.5
平成19年	26.9

平成10年～18年までは発病から登録までの期間、平成19年は発病から診断までの期間

### 1.3. 新登録肺結核培養陽性結核患者の薬剤感受性検査結果

(( ))内は構成比)

区 分	平成19年	(再掲)
新登録肺結核患者数	19,893	---
培養陽性患者数	9,983(100.0)	薬剤感受性検査 結果判明数 4,173(100.0)
INH, RFP両剤耐性	50( 0.5)	50( 1.2)
上記以外でINH耐性含む	208( 2.1)	208( 5.0)
上記以外でRFP耐性含む	22( 0.2)	22( 0.5)
その他耐性	348( 3.5)	348( 8.3)
HRSEすべてに感受性	3,545( 35.5)	3,545( 85.0)
未実施・他・不明	5,810( 58.2)	---

### 1.4. 新登録結核患者の糖尿病合併あるいはH I V感染

(( ))内は構成比)

区 分	平成19年
新登録結核患者数	25,311(100.0)
糖尿病ありの者	3,275( 12.9)
H I Vありの者	57( 0.2)

(注) いずれも「あり」と報告があった者のみ算出

### 15-1. 医療従事者の新登録結核患者数（看護師・保健師）

（ ）内は新登録に占める割合

（ ）内は総数に占める割合

	平成19年	平成19年 (再掲) 女性
総数	362( 1.4)	340( 3.8)
15~19歳	2( 1.0)	2( 2.0)
20~29歳	112( 5.8)	105(11.3)
30~39歳	125( 5.4)	116(11.5)
40~49歳	72( 3.7)	71(11.2)
50~59歳	42( 1.4)	38( 5.2)
60~69歳	7( 0.2)	6( 0.6)
70~79歳	2( 0.0)	2( 0.1)
80歳以上	0( 0.0)	0( 0.0)

(再掲) 肺結核	平成19年	平成19年 (再掲) 女性
総数	294(100.0)	274(100.0)
15~19歳	2( 0.7)	2( 0.7)
20~29歳	96(32.7)	91(33.2)
30~39歳	104(35.4)	95(34.7)
40~49歳	56(19.0)	55(20.1)
50~59歳	30(10.2)	26( 9.5)
60~69歳	4( 1.4)	3( 1.1)
70~79歳	2( 0.7)	2( 0.7)
80歳以上	0( 0.0)	0( 0.0)

### 15-2. 医療従事者の新登録結核患者数（医師）

（ ）内は新登録に占める割合

（ ）内は総数に占める割合

	平成19年	平成19年 (再掲) 女性
総数	103( 0.4)	10( 0.1)
20~29歳	8( 0.4)	1( 0.1)
30~39歳	16( 0.7)	2( 0.2)
40~49歳	24( 1.2)	2( 0.3)
50~59歳	17( 0.6)	1( 0.1)
60~69歳	7( 0.2)	2( 0.2)
70~79歳	16( 0.3)	1( 0.1)
80歳以上	15( 0.2)	1( 0.0)

(再掲) 肺結核	平成19年	平成19年 (再掲) 女性
総数	80(100.0)	7(100.0)
20~29歳	5( 6.3)	0( 0.0)
30~39歳	14(17.5)	2(28.6)
40~49歳	18(22.5)	1(14.3)
50~59歳	14(17.5)	1(14.3)
60~69歳	5( 6.3)	1(14.3)
70~79歳	13(16.3)	1(14.3)
80歳以上	11(13.8)	1(14.3)

### 15-3. 医療従事者の新登録結核患者数（その他）

（ ）内は新登録に占める割合

（ ）内は総数に占める割合

	平成19年	平成19年 (再掲) 女性
総数	167( 0.7)	125( 1.4)
15~19歳	1( 0.5)	1( 1.0)
20~29歳	50( 2.6)	44( 4.7)
30~39歳	37( 1.6)	29( 2.9)
40~49歳	33( 1.7)	20( 3.2)
50~59歳	34( 1.1)	25( 3.4)
60~69歳	7( 0.2)	4( 0.4)
70~79歳	4( 0.1)	2( 0.1)
80歳以上	1( 0.0)	0( 0.0)

(再掲) 肺結核	平成19年	平成19年 (再掲) 女性
総数	139(100.0)	107(100.0)
15~19歳	1( 0.7)	1( 0.9)
20~29歳	45(32.4)	40(37.4)
30~39歳	30(21.6)	26(24.3)
40~49歳	26(18.7)	16(15.0)
50~59歳	26(18.7)	19(17.8)
60~69歳	7( 5.0)	4( 3.7)
70~79歳	3( 2.2)	1( 0.9)
80歳以上	1( 0.7)	0( 0.0)

## 16. 無職臨時日雇等の新登録結核患者数

( ( ) 内は新登録に占める割合)

( ( ) 内は肺結核喀痰塗抹陽性新登録に占める割合)

	平成19年	平成19年 (再掲) 男性	(再掲) 肺結核喀痰 塗抹陽性	平成19年	平成19年 (再掲) 男性
合 計	2,397(26.0)	1,490(25.2)	合 計	1,144(33.8)	812(33.4)
20~24歳	151(18.7)	72(17.4)	20~24歳	70(30.0)	32(27.6)
25~29歳	201(18.0)	85(14.6)	25~29歳	79(22.8)	31(17.3)
30~34歳	213(18.2)	95(15.4)	30~34歳	96(26.2)	48(23.5)
35~39歳	271(23.8)	147(21.5)	35~39歳	126(31.4)	79(30.4)
40~44歳	247(25.2)	145(23.0)	40~44歳	125(33.3)	91(33.0)
45~49歳	264(27.6)	184(27.3)	45~49歳	141(36.0)	109(35.7)
50~54歳	347(31.0)	261(31.4)	50~54歳	182(37.6)	152(37.2)
55~59歳	703(36.7)	501(34.0)	55~59歳	325(41.3)	270(39.6)

無職臨時日雇等：接客業、医療従事者、他の常用勤労者・自営業等、家事従事者、学生を除く  
合計：20歳～59歳



## 結核病床利用率の推移（平成19年1月～9月）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北海道	25.3	26.4	25.3	26.6	24.9	24.1	20.9	25.2	21.8
青森	36.6	34.8	28.6	25.9	25.0	16.1	12.5	18.8	17.9
岩手	15.0	14.5	13.6	11.6	17.6	18.5	14.4	17.1	18.1
宮城	30.7	35.0	37.1	34.3	30.7	28.6	28.6	31.4	31.4
秋田	27.0	28.1	24.1	25.9	30.6	34.8	30.4	26.1	24.6
山形	52.0	60.0	48.0	46.0	40.0	30.0	34.0	32.0	40.0
福島	9.1	9.1	9.1	10.0	9.5	8.7	12.4	12.4	10.8
茨城	19.7	17.8	19.7	20.2	17.8	18.3	23.5	19.7	19.7
栃木	29.1	29.1	29.1	28.4	31.3	33.6	33.6	28.4	27.6
群馬	63.3	69.6	64.6	60.8	58.2	63.3	55.7	67.1	62.0
埼玉	41.4	39.9	37.0	33.7	35.5	37.4	38.8	38.8	35.5
千葉	36.9	31.8	30.5	31.3	32.3	30.2	31.5	31.0	28.6
東京	54.3	53.0	56.6	54.0	54.8	55.8	56.8	59.6	53.2
神奈川	38.9	35.2	33.2	40.0	38.3	37.4	44.0	44.0	44.9
新潟	38.3	42.5	49.2	44.2	37.5	30.8	33.3	31.7	29.2
富山	41.1	42.9	42.9	44.6	40.2	38.4	48.2	44.6	50.0
石川	27.5	24.6	28.2	30.3	32.4	32.4	31.0	33.1	32.4
福井	42.0	36.6	39.3	37.5	33.0	37.5	34.8	42.9	35.7
山梨	16.0	16.0	8.5	6.4	7.4	8.5	4.3	8.5	4.3
長野	38.8	35.8	36.6	40.3	35.8	37.3	37.3	34.3	31.3
岐阜	35.0	31.2	27.4	30.6	32.5	35.0	49.0	44.6	43.3
静岡	36.4	31.3	31.8	34.3	33.8	38.4	32.8	40.4	43.9
愛知	39.9	35.6	36.4	41.2	44.4	41.7	39.9	42.9	42.7
三重	53.8	47.5	35.0	48.8	57.5	46.3	40.0	46.3	45.0
滋賀	12.9	17.4	12.9	21.2	22.0	22.0	24.2	21.2	21.2
京都	26.2	26.5	24.2	21.1	23.1	24.5	23.6	25.9	26.2
大阪	51.9	49.6	54.1	52.7	53.1	53.1	56.4	55.7	53.9
兵庫	39.6	39.1	37.1	34.3	30.7	32.2	35.8	38.9	39.4
奈良	71.0	66.0	63.0	57.0	53.0	57.0	56.0	53.0	51.0
和歌山	58.4	61.4	60.8	58.4	57.8	57.8	56.6	60.8	51.8
鳥取	28.2	15.4	20.5	15.4	15.4	20.5	23.1	28.2	28.2
島根	15.9	13.6	15.9	15.9	11.4	12.5	14.8	14.8	13.6
岡山	43.2	40.5	39.2	37.9	39.9	41.9	37.5	37.2	39.1
広島	40.0	41.0	42.4	42.0	39.0	35.6	41.0	39.0	36.1
山口	28.3	27.6	28.3	20.7	32.4	32.4	31.0	30.3	31.7
徳島	33.0	31.1	26.2	26.2	32.0	34.0	30.1	26.2	28.2
香川	14.1	13.3	18.6	16.3	14.1	17.8	19.3	25.2	19.3
愛媛	23.5	19.0	19.0	22.2	21.6	21.6	22.2	18.3	24.2
高知	17.9	15.6	15.1	15.6	23.6	20.8	19.8	22.2	23.6
福岡	50.9	49.0	44.8	44.8	45.6	43.5	43.9	41.8	40.4
佐賀	33.3	32.4	31.5	29.6	29.6	37.0	42.6	41.7	36.1
長崎	20.0	21.7	21.7	16.6	17.4	20.4	22.6	24.0	25.8
熊本	20.9	19.3	22.1	23.9	22.1	18.5	18.1	19.9	19.6
大分	50.6	51.8	49.4	41.8	41.2	50.0	44.1	42.4	40.0
宮崎	44.5	42.7	33.6	30.9	36.4	40.0	37.3	29.1	30.0
鹿児島	26.3	24.6	22.9	23.7	27.1	28.4	27.5	30.9	30.1
沖縄	38.3	38.3	34.6	30.9	33.3	34.6	40.7	42.0	35.8
全国	37.5	36.1	35.9	35.4	35.9	36.0	36.6	37.4	36.0

※ 各月の病床利用率は月報で公表している病院報告(概数)の数値より抜粋した月末の病床利用率

結核病床利用率の推移（平成19年10月～平成20年5月）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	24.0	23.6	22.3	21.2	21.7	22.1	22.8	22.7
青森	16.1	12.5	20.5	25.0	29.5	24.1	21.4	23.2
岩手	15.7	18.5	14.4	20.8	18.5	20.8	19.4	16.5
宮城	35.0	36.4	32.1	29.3	28.6	30.0	26.4	29.3
秋田	21.5	23.1	20.0	23.1	23.1	20.0	27.7	23.1
山形	52.0	66.0	68.0	64.0	62.0	52.0	44.0	44.0
福島	13.7	14.1	10.4	12.4	13.7	12.0	14.1	13.6
茨城	21.6	18.8	12.2	7.5	13.1	12.7	16.4	19.9
栃木	33.6	35.1	32.8	31.3	31.3	26.9	26.9	27.6
群馬	65.8	64.6	57.0	68.4	62.0	43.0	45.6	38.0
埼玉	42.1	36.3	35.5	36.3	32.6	35.2	42.2	45.3
千葉	33.4	46.1	42.1	42.8	44.6	40.2	43.9	47.2
東京	59.1	59.7	59.2	60.1	59.8	57.0	59.1	59.8
神奈川	42.9	41.3	34.4	34.7	37.7	38.3	36.2	34.4
新潟	38.3	35.8	39.0	38.0	50.0	36.0	25.0	33.0
富山	47.3	51.8	53.6	52.7	45.5	41.1	46.4	42.9
石川	29.6	29.6	29.6	30.3	25.4	23.9	20.4	21.1
福井	30.4	28.3	17.5	31.5	34.3	36.1	33.3	31.5
山梨	10.6	12.8	12.8	16.0	17.0	17.0	19.1	20.2
長野	29.1	26.9	23.9	29.9	32.8	29.1	32.8	35.8
岐阜	43.3	38.9	33.8	32.5	40.8	38.2	35.0	32.5
静岡	44.4	42.4	34.8	34.8	31.8	34.8	35.4	40.4
愛知	47.5	50.3	44.3	44.8	46.9	50.3	50.8	48.6
三重	50.0	41.3	32.5	35.0	35.0	45.0	53.3	56.7
滋賀	20.6	20.6	14.7	17.6	23.5	11.8	18.6	23.5
京都	26.8	24.8	20.5	24.8	23.6	23.3	24.4	27.3
大阪	57.7	59.0	57.1	58.7	54.6	54.2	56.1	57.8
兵庫	40.9	37.1	35.5	37.3	35.8	32.2	33.5	30.7
奈良	60.0	59.0	52.0	55.0	58.0	61.0	56.0	57.0
和歌山	51.2	57.8	59.6	56.6	59.0	59.0	59.6	57.8
鳥取	20.5	20.5	17.9	20.5	17.9	17.9	15.4	17.9
島根	18.2	13.6	10.2	13.6	13.6	9.1	2.3	3.4
岡山	43.1	43.1	41.3	42.0	43.8	38.8	37.7	36.3
広島	42.0	54.2	58.1	61.3	57.4	54.2	56.1	55.5
山口	29.0	24.8	20.0	26.2	26.2	22.1	22.3	28.5
徳島	26.2	34.0	27.2	20.4	20.4	26.2	28.2	31.1
香川	19.3	16.3	16.3	14.8	21.5	20.0	23.8	15.6
愛媛	20.9	19.0	9.2	14.4	18.3	16.3	19.6	16.3
高知	19.8	20.3	16.5	19.3	18.4	15.6	17.0	17.9
福岡	45.3	47.2	42.1	48.0	47.0	48.3	51.7	50.6
佐賀	34.3	33.3	25.9	29.6	37.5	36.3	40.0	41.4
長崎	25.8	18.8	18.8	21.0	20.1	17.6	22.4	28.6
熊本	20.7	21.4	19.2	16.3	17.8	15.9	15.6	16.3
大分	44.7	39.4	39.4	44.1	48.0	49.4	46.5	43.5
宮崎	30.0	22.7	22.7	35.5	31.8	23.6	21.8	33.6
鹿児島	28.0	28.0	27.8	25.2	25.7	27.8	31.3	29.6
沖縄	40.7	44.4	40.7	33.3	30.9	25.9	33.3	33.3
全国	38.1	38.2	35.4	37.0	37.0	35.6	36.8	37.3

※ 各月の病床利用率は月報で公表している病院報告(概数)の数値より抜粋した月末の病床利用率

## 感染症指定医療機関の指定状況（平成20年3月末現在）

### ○ 特定感染症指定医療機関：3医療機関（8床）

病 院 名	病床数	所在地
成田赤十字病院	2床	千葉県
国立国際医療センター	4床	東京都
市立泉佐野病院	2床	大阪府

### ○ 第一種感染症指定医療機関：29医療機関（55床）

病 院 名	病床数	所在地
市立札幌病院	2床	北海道
山形県立中央病院	2床	山形県
公立大学法人福島県立医科大学医学部附属病院	2床	福島県
総合病院取手協同病院	2床	茨城県
埼玉医科大学病院	2床	埼玉県
成田赤十字病院	1床	千葉県
財団法人東京都保健医療公社荏原病院	2床	東京都
東京都立墨東病院	2床	東京都
横浜市立市民病院	2床	神奈川県
新潟市民病院	2床	新潟県
福井県立病院	2床	福井県
山梨県立中央病院	2床	山梨県
長野県立須坂病院	2床	長野県
岐阜赤十字病院	2床	岐阜県
名古屋第二赤十字病院	2床	愛知県
大津市民病院	2床	滋賀県
大阪市立総合医療センター	1床	大阪府
市立堺病院	1床	大阪府
市立泉佐野病院	2床	大阪府
神戸市立医療センター中央病院	2床	兵庫県
奈良県立医科大学附属病院	2床	奈良県
鳥取県立厚生病院	2床	鳥取県
岡山大学医学部・歯学部附属病院	2床	岡山県
広島大学病院	2床	広島県
山口県総合医療センター	2床	山口県
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	2床	高知県
福岡市立こども病院・感染症センター	2床	福岡県
熊本市立熊本市市民病院	2床	熊本県
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	2床	沖縄県

注）岩手県：平成20年5月1日に盛岡市立病院（病床数：2床）を指定

### ○ 第二種感染症指定医療機関

- ・ 感染症病床を有する指定医療機関 317医療機関（1,659床）
- ・ 結核病床を有する指定医療機関 264医療機関（9,144床）
- ・ 結核患者収容モデル事業（※1）を実施する指定医療機関 77医療機関（365床）

【参考】第二種感染症指定医療機関 総数 561医療機関（11,168床）

### ○ 結核指定医療機関（※2）：121,538医療機関

- ・ 病院：8,749 診療所：68,152 薬局：44,637

※1 高度な合併症を有する結核患者又は入院を要する精神病患者である結核患者に対して、一般病床又は精神病床において収容治療するためのモデル事業

※2 結核患者に対する適正な医療（通院医療）を担当させる医療機関

## 第二種感染症指定医療機関の指定状況（平成20年3月末現在）

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
1	市立函館病院	6床	30床		北海道
2	北海道立江差病院	4床			北海道
3	八雲総合病院	4床			北海道
4	市立札幌病院	6床			北海道
5	市立小樽第二病院	2床			北海道
6	J A北海道厚生連倶知安厚生病院	2床			北海道
7	岩見沢市立総合病院	4床			北海道
8	砂川市立病院	4床	6床		北海道
9	深川市立病院	4床			北海道
10	市立室蘭総合病院	4床	24床		北海道
11	苫小牧市立病院	4床			北海道
12	総合病院浦河赤十字病院	4床	4床		北海道
13	市立旭川病院	6床			北海道
14	名寄市立総合病院	4床			北海道
15	（社福）北海道社会事業協会 富良野病院	4床			北海道
16	留萌市立病院	4床			北海道
17	市立稚内病院	4床			北海道
18	総合病院北見赤十字病院	2床			北海道
19	J A北海道厚生連網走厚生病院	2床		10床	北海道
20	北海道立紋別病院	4床			北海道
21	J A北海道厚生連帯広厚生病院	6床			北海道
22	市立釧路総合病院	4床	10床		北海道
23	国立病院機構函館病院		10床	10床	北海道
24	国立病院機構札幌南病院		159床		北海道
25	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院		6床		北海道
26	北海道社会保険病院		46床		北海道
27	市立小樽病院		47床		北海道
28	岩見沢労災病院（H20.4～北海道中央労災病院）		12床		北海道
29	北海道立苫小牧病院		80床		北海道
30	国立病院機構道北病院		50床		北海道
31	国立病院機構帯広病院		50床	6床	北海道
32	弘前大学医学部附属病院	6床			青 森
33	八戸市立市民病院	6床			青 森
34	十和田市立中央病院	4床			青 森
35	むつ総合病院	4床			青 森
36	（財）秀芳園弘前中央病院		36床		青 森
37	青森県立中央病院		16床		青 森
38	（独）国立病院機構青森病院		60床		青 森
39	盛岡市立病院	6床			岩 手
40	北上済生会病院	4床			岩 手
41	奥州市総合水沢病院	4床			岩 手
42	県立千厩病院	4床			岩 手
43	県立大槌病院	2床			岩 手
44	県立久慈病院	4床			岩 手
45	県立一戸病院	4床			岩 手
46	県立遠野病院	2床	20床		岩 手
47	県立宮古病院	4床	10床		岩 手
48	県立大船渡病院	4床	10床		岩 手
49	盛岡繁温泉病院		2床		岩 手
50	独）国立病院機構盛岡病院		50床		岩 手
51	県立中央病院		45床		岩 手
52	県立花巻厚生病院		14床		岩 手
53	県立北上病院		10床		岩 手
54	県立江刺病院		15床		岩 手
55	県立胆沢病院		20床		岩 手

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
56	県立磐井病院		10床		岩 手
57	県立二戸病院		10床		岩 手
58	公立刈田総合病院	4床	4床		宮 城
59	仙台市立病院	8床			宮 城
60	大崎市民病院	6床	24床		宮 城
61	石巻赤十字病院	4床			宮 城
62	気仙沼市立病院	4床			宮 城
63	仙台赤十字病院		30床		宮 城
64	宮城病院		32床		宮 城
65	宮城県立循環器・呼吸器病センター		50床		宮 城
66	坂総合病院			1床	宮 城
67	木町病院			1床	宮 城
68	仙台社会保険病院			2床	宮 城
69	長町病院			1床	宮 城
70	光ヶ丘スペルマン病院			1床	宮 城
71	仙台徳洲会病院			1床	宮 城
72	鹿角組合総合病院	2床			秋 田
73	大館市立総合病院	2床	6床		秋 田
74	公立米内沢総合病院	4床	11床		秋 田
75	山本組合総合病院	4床			秋 田
76	市立秋田総合病院		22床		秋 田
77	秋田組合総合病院	2床			秋 田
78	独立行政法人国立病院機構あきた病院		16床		秋 田
79	由利組合総合病院	4床			秋 田
80	仙北組合総合病院	4床	4床		秋 田
81	平鹿総合病院		6床		秋 田
82	市立横手病院	4床			秋 田
83	雄勝中央病院	4床			秋 田
84	山形県立河北病院	6床			山 形
85	山形県立新庄病院	2床			山 形
86	公立置賜総合病院	4床			山 形
87	山形県立日本海病院	4床			山 形
88	独立行政法人国立病院機構山形病院		50床		山 形
89	公立大学法人福島県立医科大学付属病院		14床		福 島 県
90	総合病院福島赤十字病院	6床			福 島 県
91	公立藤田総合病院		12床		福 島 県
92	公立岩瀬病院	6床			福 島 県
93	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院		14床		福 島 県
94	公立小野地方総合病院		30床		福 島 県
95	国立病院機構福島病院		22床		福 島 県
96	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院	4床	25床		福 島 県
97	福島県立会津総合病院	8床	50床		福 島 県
98	財団法人竹田総合病院			1床	福 島 県
99	福島県立大野病院	4床			福 島 県
100	いわき市立総合磐城共立病院	6床	46床		福 島 県
101	水戸赤十字病院	10床			茨 城
102	常陸大宮済生会病院	2床			茨 城
103	(株) 日立製作所日立総合病院	4床			茨 城
104	(財) 鹿島病院	4床	42床	2床	茨 城
105	総合病院土浦協同病院	6床			茨 城
106	(財) 筑波学園病院	3床	33床		茨 城
107	筑波メディカルセンター病院	3床			茨 城
108	総合病院取手協同病院	6床			茨 城
109	県西総合病院	4床			茨 城
110	古河赤十字病院	2床			茨 城
111	茨城西南医療センター病院	2床			茨 城
112	茨城県立中央病院		25床		茨 城
113	城北病院		3床		茨 城

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
114	国立病院機構茨城東病院		110床		茨 城
115	大田原赤十字病院	6床			栃 木
116	日光市民病院	4床			栃 木
117	国立病院機構栃木病院	6床			栃 木
118	宇都宮社会保険病院	6床			栃 木
119	佐野厚生総合病院	4床			栃 木
120	岡本台病院			2床	栃 木
121	国立病院機構宇都宮病院		150床		栃 木
122	足利赤十字病院		34床		栃 木
123	前橋赤十字病院	6床			群 馬
124	渋川総合病院	4床			群 馬
125	伊勢崎市民病院	4床			群 馬
126	国立病院機構高崎病院	6床			群 馬
127	公立藤岡総合病院	4床			群 馬
128	公立富岡総合病院	4床			群 馬
129	原町赤十字病院	4床			群 馬
130	国立病院機構沼田病院	4床			群 馬
131	館林厚生病院	6床			群 馬
132	桐生厚生総合病院	4床			群 馬
133	国立大学法人群馬大学医学部附属病院		9床		群 馬
134	国立病院機構西群馬病院		50床		群 馬
135	松井田病院		20床		群 馬
136	精神医療センター			3床	群 馬
137	埼玉県済生会栗橋病院	4床			埼 玉
138	埼玉県立精神医療センター			4床	埼 玉
139	済生会川口総合病院		20床		埼 玉
140	益子病院		32床		埼 玉
141	循環器呼吸器病センター		51床		埼 玉
142	東松山市立市民病院	18床			埼 玉
143	深谷赤十字病院	6床			埼 玉
144	独立行政法人国立病院機構東埼玉病院		150床		埼 玉
145	さいたま市立病院	10床	20床		埼 玉
146	埼玉医科大学病院	4床		6床	埼 玉
147	千葉市立青葉病院	6床			千 葉
148	浦安市川市民病院	4床			千 葉
149	社会保険船橋中央病院	4床			千 葉
150	国保松戸市立病院	8床			千 葉
151	成田赤十字病院	4床			千 葉
152	総合病院国保旭中央病院	6床			千 葉
153	高根病院	4床			千 葉
154	南房総市立富山国保病院	4床			千 葉
155	国保直営総合病院 君津中央病院	6床	26床		千 葉
156	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院		50床		千 葉
157	(財)化学療法研究会 化学療法研究所附属病院		88床		千 葉
158	財団法人日産厚生会 佐倉厚生園		47床		千 葉
159	医療法人三省会 本多病院		10床		千 葉
160	千葉県立 佐原病院		4床		千 葉
161	千葉県立 東金病院		12床		千 葉
162	医療法人公明会 塩田病院		8床		千 葉
163	国保国吉病院		6床		千 葉
164	銚子市立総合病院		20床		千 葉
165	医療法人財団東京勤労者医療会東葛病院			1床	千 葉
166	医療法人社団柏水会初石病院			2床	千 葉
167	医療法人社団圭春会小張総合病院			2床	千 葉
168	医療法人鉄蕉会亀田総合病院			3床	千 葉
169	東京女子医科大学附属八千代医療センター			2床	千 葉
170	千葉大学医学部附属病院			2床	千 葉
171	東京都立府中病院		48床		東 京

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
172	東京都立清瀬小児病院		75床		東 京
173	国立国際医療センター		40床		東 京
174	東京医科歯科大学医学部附属病院		47床		東 京
175	独立行政法人国立病院機構東京病院		100床		東 京
176	虎の門病院		8床		東 京
177	慶應義塾大学病院		5床		東 京
178	洗足池病院		46床		東 京
179	児玉経堂病院		40床		東 京
180	J R 東京総合病院		2床		東 京
181	日本大学医学部附属板橋病院		12床		東 京
182	東立病院		15床		東 京
183	片山病院		60床		東 京
184	新山手病院		8床		東 京
185	財団法人結核予防会複十字病院		60床		東 京
186	清瀬リハビリテーション病院		48床		東 京
187	薫風園病院		42床		東 京
188	東京慈恵会医科大学附属第三病院		31床		東 京
189	日本医科大学付属病院			2床	東 京
190	白鬚橋病院			1床	東 京
191	青梅市立総合病院	4床		2床	東 京
192	中野共立病院			1床	東 京
193	立川相互病院			1床	東 京
194	城南福祉医療協会大田病院			1床	東 京
195	国民健康保険町立八丈病院	2床		2床	東 京
196	河北総合病院分院			1床	東 京
197	聖路加国際病院			15床	東 京
198	日本赤十字社医療センター			3床	東 京
199	都立墨東病院	8床			東 京
200	都立駒込病院	10床			東 京
201	都立豊島病院	20床			東 京
202	財団法人東京都保健医療公社荏原病院	18床			東 京
203	東京医科大学八王子医療センター	8床			東 京
204	国家公務員共済組合連合会立川病院	6床			東 京
205	日本赤十字社東京都支部武蔵野赤十字病院	20床			東 京
206	公立昭和病院	6床			東 京
207	横浜市立市民病院	24床			神奈川
208	川崎市立川崎病院	12床			神奈川
209	横須賀市立市民病院	6床			神奈川
210	藤沢市民病院	6床			神奈川
211	平塚市民病院	6床			神奈川
212	厚木市立病院	6床			神奈川
213	相模原協同病院	6床			神奈川
214	神奈川県立足柄上病院	6床			神奈川
215	独立行政法人国立病院機構南横浜病院		150床		神奈川
216	神奈川県立循環器呼吸器病センター		60床		神奈川
217	公立学校法人横浜市立大学附属病院		16床		神奈川
218	川崎市立井田病院		58床		神奈川
219	独立行政法人国立病院機構神奈川病院		50床		神奈川
220	県立新発田病院	4床			新 潟
221	新潟市民病院	6床			新 潟
222	長岡赤十字病院	10床	30床		新 潟
223	県立中央病院	10床			新 潟
224	佐渡総合病院	4床		7床	新 潟
225	独立行政法人国立病院機構西新潟中央病院		50床		新 潟
226	上越地域医療センター病院		20床		新 潟
227	村はまなす病院			3床	新 潟
228	信楽園病院			2床	新 潟
229	刈羽郡総合病院			1床	新 潟

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
230	あさひ総合病院		5床		富 山
231	黒部市民病院	4床	5床		富 山
232	県立中央病院		20床		富 山
233	国立病院機構富山病院		50床		富 山
234	富山市民病院	6床			富 山
235	射水市民病院		4床		富 山
236	高岡市民病院	6床	12床		富 山
237	氷見市民病院		5床		富 山
238	市立砺波総合病院	4床	5床		富 山
239	国立病院機構北陸病院			4床	富 山
240	国民健康保険小松市民病院	4床	10床		石 川
241	金沢市民病院	6床	25床		石 川
242	石川県立中央病院			2床	石 川
243	松原病院			1床	石 川
244	公立能登総合病院	4床			石 川
245	独立行政法人国立病院機構七尾病院		50床		石 川
246	市立輪島病院	4床			石 川
247	珠洲市総合病院		7床		石 川
248	福井県立病院	2床	10床		福 井
249	福井赤十字病院	4床	26床		福 井
250	福井県済生会病院		10床		福 井
251	福井社会保険病院	4床			福 井
252	公立丹南病院	4床			福 井
253	市立敦賀病院	2床			福 井
254	(独) 国立病院機構福井病院		50床		福 井
255	杉田玄白記念公立小浜病院	2床	8床		福 井
256	市立甲府病院	6床			山 梨
257	市立甲陽病院	4床			山 梨
258	財団法人山梨厚生会山梨厚生病院	4床	18床		山 梨
259	社会保険皴沢病院	4床			山 梨
260	国民健康保険富士吉田市立病院	4床			山 梨
261	大月市立中央病院	4床			山 梨
262	県立中央病院		20床		山 梨
263	独立行政法人国立病院機構甲府病院		50床		山 梨
264	山梨赤十字病院		6床		山 梨
265	佐久総合病院	4床		2床	長 野
266	市立岡谷病院	4床			長 野
267	伊那中央病院	4床			長 野
268	飯田市立病院	4床		2床	長 野
269	県立木曽病院	4床			長 野
270	波田総合病院	6床			長 野
271	市立大町総合病院	4床			長 野
272	長野松代総合病院	6床			長 野
273	県立須坂病院	2床	24床		長 野
274	北信総合病院	4床			長 野
275	岡谷塩嶺病院		60床		長 野
276	中信松本病院		50床		長 野
277	長野赤十字病院			2床	長 野
278	岐阜赤十字病院	6床			岐 阜
279	大垣市民病院	6床	40床		岐 阜
280	岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院	6床		6床	岐 阜
281	岐阜県立多治見病院	6床	13床		岐 阜
282	岐阜県厚生農業協同組合連合会久美愛厚生病院	4床	6床		岐 阜
283	独立行政法人国立病院機構長良医療センター		64床		岐 阜
284	羽島市民病院		10床		岐 阜
285	郡上市国保白鳥病院		4床		岐 阜
286	市立恵那病院		10床		岐 阜
287	岐阜県厚生農業協同組合連合会高山厚生病院		10床		岐 阜



No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
288	共立湊病院	4床			静 岡
289	国際医療福祉大学附属熱海病院	4床			静 岡
290	裾野赤十字病院	6床			静 岡
291	富士市立中央病院	6床	10床		静 岡
292	静岡市立静岡病院	6床			静 岡
293	市立島田市民病院	6床	8床		静 岡
294	掛川市立総合病院	2床			静 岡
295	袋井市立袋井市民病院	2床			静 岡
296	磐田市立総合病院	2床			静 岡
297	浜松市国民健康保険佐久間病院	4床			静 岡
298	県西部浜松医療センター	6床			静 岡
299	県立総合病院		100床		静 岡
300	藤枝市立総合病院		10床		静 岡
301	聖隷三方原病院		20床		静 岡
302	独立行政法人国立病院機構天竜病院		50床		静 岡
303	静岡済生会総合病院			2床	静 岡
304	名古屋市立東部医療センター東市民病院	10床			愛 知
305	愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院	6床			愛 知
306	公立陶生病院	6床	44床		愛 知
307	愛知県立循環器呼吸器病センター	6床	50床		愛 知
308	春日井市民病院	6床			愛 知
309	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院	6床			愛 知
310	愛知県厚生農業協同組合連合会豊田厚生病院	6床		2床	愛 知
311	愛知県がんセンター愛知病院	6床	50床		愛 知
312	豊橋市民病院	10床	34床		愛 知
313	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院		148床		愛 知
314	大同病院		10床		愛 知
315	社会保険中京病院		20床		愛 知
316	豊川市民病院		8床		愛 知
317	独立行政法人国立病院機構東尾張病院			4床	愛 知
318	独立行政法人労働者健康福祉機構旭労災病院			2床	愛 知
319	名古屋第二赤十字病院			9床	愛 知
320	南知多病院			3床	愛 知
321	市立四日市病院	2床			三 重
322	三重県立総合医療センター	4床			三 重
323	四日市社会保険病院			17床	三 重
324	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院			2床	三 重
325	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター		50床		三 重
326	独立行政法人国立病院機構榑原病院			4床	三 重
327	岡波総合病院	4床			三 重
328	松阪市民病院	2床			三 重
329	恩賜財団済生会明和病院			30床	三 重
330	山田赤十字病院	4床		17床	三 重
331	紀南病院	4床	10床		三 重
332	大津市民病院	6床	10床		滋 賀
333	済生会滋賀県病院	4床			滋 賀
334	公立甲賀病院	4床			滋 賀
335	近江八幡市立総合医療センター	4床			滋 賀
336	彦根市立病院	4床	10床		滋 賀
337	長浜赤十字病院	4床			滋 賀
338	公立高島総合病院	4床			滋 賀
339	社会保険滋賀病院		37床		滋 賀
340	国立病院機構滋賀病院		20床		滋 賀
341	京都府立与謝の海病院	4床	15床		京 都
342	市立福知山市民病院	4床	10床		京 都
343	公立南丹病院	4床	10床		京 都
344	京都府立医科大学附属病院		54床		京 都
345	京都大学医学部附属病院		15床		京 都

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
346	京都市立病院	8床	12床		京 都
347	京都第一赤十字病院		46床		京 都
348	京都市桃陽病院 (小児)		20床		京 都
349	(福) 京都社会事業財団京都桂病院		60床		京 都
350	(医) 啓信会 京都きづ川病院	6床			京 都
351	独立行政法人国立病院機構南京都病院		100床		京 都
352	公立山城病院	10床			京 都
353	市立豊中病院	14床			大 阪
354	市立枚方市民病院	8床			大 阪
355	大阪市立総合医療センター	32床			大 阪
356	市立堺病院	12床			大 阪
357	市立泉佐野病院	6床			大 阪
358	刀根山病院		200床		大 阪
359	結核予防会大阪病院		30床		大 阪
360	阪奈病院		344床		大 阪
361	呼吸器アレルギー医療センター		200床		大 阪
362	河崎病院		23床		大 阪
363	高槻赤十字病院			6床	大 阪
364	白鷺病院			1床	大 阪
365	大阪市立十三市民病院			1床	大 阪
366	神戸市立医療センター中央市民病院	8床			兵 庫
367	県立尼崎病院	8床			兵 庫
368	加古川市民病院	6床			兵 庫
369	市立加西病院	6床			兵 庫
370	姫路赤十字病院	6床			兵 庫
371	赤穂市民病院	4床		8床	兵 庫
372	公立豊岡病院	4床			兵 庫
373	柏原赤十字病院	4床			兵 庫
374	県立淡路病院	4床	26床	1床	兵 庫
375	西神戸医療センター		100床		兵 庫
376	谷向病院		60床		兵 庫
377	独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院		148床		兵 庫
378	独立行政法人国立病院機構兵庫青野原病院		50床		兵 庫
379	公立八鹿病院		7床		兵 庫
380	医療法人千水会赤穂仁泉病院			1床	兵 庫
381	大倭病院	6床			奈 良
382	済生会中和病院	10床			奈 良
383	国立病院機構奈良医療センター		100床		奈 良
384	公立那賀病院	4床			和歌山
385	県立医大付属病院紀北分院	4床			和歌山
386	有田市立病院	4床			和歌山
387	国保日高総合病院	4床			和歌山
388	社会保険紀南病院	4床			和歌山
389	新宮市立医療センター	4床		4床	和歌山
390	神田病院		93床		和歌山
391	国保野上厚生総合病院		53床		和歌山
392	(国)和歌山病院		20床		和歌山
393	和歌山生協病院			4床	和歌山
394	鳥取県立中央病院	4床	10床		鳥 取
395	国立病院機構鳥取医療センター		18床		鳥 取
396	鳥取県立厚生病院	2床			鳥 取
397	鳥取大学医学部附属病院		6床		鳥 取
398	済生会境港総合病院	4床			鳥 取
399	松江市立病院	4床			島 根
400	公立雲南総合病院	4床			島 根
401	島根県立中央病院	6床			島 根
402	大田市立病院	4床			島 根
403	国立病院機構浜田医療センター	4床			島 根

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
404	益田赤十字病院	4床	8床		島 根
405	隠岐広域連合立隠岐病院	2床			島 根
406	国立病院機構松江病院		80床		島 根
407	島根県済生会江津総合病院			4床	島 根
408	総合病院岡山市立市民病院	6床	12床		岡 山
409	倉敷中央病院	10床			岡 山
410	津山中央病院	8床	30床		岡 山
411	国立病院機構南岡山医療センター		100床		岡 山
412	平病院		36床		岡 山
413	浅野病院		37床		岡 山
414	岡山県健康づくり財団付属病院		46床		岡 山
415	河本病院		20床		岡 山
416	広島市立舟入病院	16床			広 島
417	福山市民病院	6床			広 島
418	国家公務員共済組合連合会 吉島病院		59床		広 島
419	東広島医療センター		50床		広 島
420	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		46床		広 島
421	興生総合病院			10床	広 島
422	賀茂精神医療センター			30床	広 島
423	総合病院三愛			12床	広 島
424	公立学校共済組合中国中央病院			6床	広 島
425	県立総合医療センター	12床			山 口
426	総合病院社会保険徳山中央病院	12床			山 口
427	下関市立中央病院	6床			山 口
428	長門総合病院	8床			山 口
429	国立病院機構山陽病院		50床		山 口
430	徳島大学医学部・歯学部附属病院	6床	14床		徳 島
431	徳島県立中央病院		10床		徳 島
432	東徳島病院		50床		徳 島
433	徳島県立三好病院	4床	10床		徳 島
434	三好市国民健康保険市立三野病院		10床		徳 島
435	徳島県立海部病院	4床	4床		徳 島
436	国民健康保険勝浦病院		5床		徳 島
437	さぬき市民病院	4床			香 川
438	内海病院	4床	5床		香 川
439	高松市民病院	6床			香 川
440	三豊総合病院	4床			香 川
441	香川県立中央病院		5床		香 川
442	高松赤十字病院		8床		香 川
443	高松医療センター		20床		香 川
444	土庄町国民健康保険土庄中央病院		5床		香 川
445	香川県立丸亀病院			4床	香 川
446	愛媛県立三島病院	4床			愛 媛
447	愛媛県立新居浜病院	2床	37床		愛 媛
448	西条中央病院	2床			愛 媛
449	今治市医師会市民病院	4床			愛 媛
450	愛媛県立中央病院	3床	36床		愛 媛
451	松山赤十字病院	3床			愛 媛
452	松山記念病院			1床	愛 媛
453	国立病院機構愛媛病院		49床		愛 媛
454	市立大洲病院		26床		愛 媛
455	市立八幡浜総合病院	2床			愛 媛
456	西予市立宇和病院	2床			愛 媛
457	市立宇和島病院	4床	5床		愛 媛
458	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	6床	50床		高 知
459	高知県立幡多けんみん病院	3床	28床		高 知
460	独立行政法人国立病院機構高知病院		50床		高 知
461	高知赤十字病院		26床		高 知

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
462	高知県立安芸病院		28床		高 知
463	佐川町立高北国民健康保険病院		10床		高 知
464	本山町立国保嶺北中央病院		20床		高 知
465	北九州市立医療センター	16床			福 岡
466	福岡市立こども病院・感染症センター	22床			福 岡
467	田川市立病院	8床			福 岡
468	筑後市立病院	2床			福 岡
469	聖マリア病院	6床			福 岡
470	遠賀中間医師会おかがき病院		50床		福 岡
471	医療法人岡部病院		18床		福 岡
472	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター		50床		福 岡
473	独立行政法人国立病院機構大牟田病院		50床		福 岡
474	医療法人新船小屋病院		30床		福 岡
475	健康保険直方中央病院		63床		福 岡
476	社会保険筑豊病院		50床		福 岡
477	済生会福岡第2病院		50床		福 岡
478	福岡県立精神医療センター太宰府病院			10床	福 岡
479	県立病院好生館	6床		8床	佐 賀
480	東佐賀病院	4床	50床		佐 賀
481	唐津赤十字病院	4床			佐 賀
482	伊万里市立市民病院	4床			佐 賀
483	嬉野医療センター	4床			佐 賀
484	肥前精神医療センター			6床	佐 賀
485	長崎市立病院成人病センター	6床	30床		長 崎
486	長崎大学医学部・歯学部附属病院		13床		長 崎
487	佐世保市立総合病院	4床	20床		長 崎
488	国立病院機構長崎神経医療センター		35床		長 崎
489	健康保険諫早総合病院		8床		長 崎
490	日本赤十字社長崎原爆諫早病院		20床		長 崎
491	大村市立病院	4床			長 崎
492	長崎県立島原病院	4床			長 崎
493	国民健康保険松浦市民病院		10床		長 崎
494	地方独立行政法人北松中央病院	4床	50床		長 崎
495	長崎県離島医療圏組合五島中央病院	4床	10床		長 崎
496	長崎県離島医療圏組合上五島病院	4床			長 崎
497	壱岐市民病院	4床	6床		長 崎
498	長崎県離島医療圏組合中対馬病院	4床	8床		長 崎
499	熊本市立病院	10床			熊 本
500	江南病院		32床		熊 本
501	宇賀岳病院	4床			熊 本
502	熊本県こころの医療センター		10床		熊 本
503	熊本南病院		100床		熊 本
504	荒尾市民病院	4床			熊 本
505	山鹿市立病院	4床			熊 本
506	菊池郡市医師会立病院	4床			熊 本
507	阿蘇中央病院	4床			熊 本
508	八代総合病院	4床			熊 本
509	八代市立病院		30床		熊 本
510	国保水俣市立総合医療センター	4床		10床	熊 本
511	健康保険人吉総合病院	4床	2床		熊 本
512	医療法人蘇春堂球磨病院		6床		熊 本
513	健康保険天草中央総合病院	4床	20床		熊 本
514	天草市立栖本病院		46床		熊 本
515	国東市民病院	4床		5床	大 分
516	厚生連鶴見病院	4床			大 分
517	NHO西別府病院		100床		大 分
518	大分赤十字病院			4床	大 分
519	大分県立病院	16床			大 分

No.	病 院 名	病 床 数			所 在 地
		感染症病床	結核病床	一般病床又は精神病床	
520	臼杵市医師会立コスモス病院	4床			大 分
521	健康保険南海病院	4床		6床	大 分
522	公立おがた総合病院	4床			大 分
523	大分県済生会日田病院	4床			大 分
524	宇佐高田医師会病院	4床			大 分
525	県立宮崎病院	6床		2床	宮 崎
526	県立日南病院	4床			宮 崎
527	藤元早鈴病院	4床			宮 崎
528	小林市立市民病院	4床			宮 崎
529	都農町国民健康保険病院	4床			宮 崎
530	済生会日向病院	4床			宮 崎
531	県立延岡病院	4床			宮 崎
532	国立病院機構宮崎東病院		60床		宮 崎
533	竹内病院		32床		宮 崎
534	国民健康保険中部病院		5床		宮 崎
535	藤元病院		13床		宮 崎
536	鹿児島市立病院	6床	40床		鹿 児 島
537	国立病院機構指宿病院	4床			鹿 児 島
538	県立薩南病院	4床	20床		鹿 児 島
539	川内市医師会立市民病院	4床			鹿 児 島
540	出水総合医療センター	4床			鹿 児 島
541	県立北薩病院	4床			鹿 児 島
542	霧島市立医師会医療センター	4床			鹿 児 島
543	曾於郡医師会立病院	2床			鹿 児 島
544	県民健康プラザ鹿屋医療センター	4床			鹿 児 島
545	医療法人義順顕彰会田上病院	2床	2床		鹿 児 島
546	公立種子島病院	2床			鹿 児 島
547	県立大島病院	4床	15床		鹿 児 島
548	鹿児島大学		13床		鹿 児 島
549	高岡病院		30床		鹿 児 島
550	三船病院		10床		鹿 児 島
551	赤十字病院		34床		鹿 児 島
552	谷山病院			5床	鹿 児 島
553	国立病院機構南九州病院		50床		鹿 児 島
554	沖縄県立北部病院	2床			沖 縄
555	沖縄県立中部病院	4床			沖 縄
556	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	4床			沖 縄
557	沖縄県立宮古病院	3床	7床		沖 縄
558	沖縄県立八重山病院	3床	6床		沖 縄
559	琉球大学医学部附属病院		14床		沖 縄
560	国立病院機構 沖縄病院		50床		沖 縄
561	沖縄県立精和病院		4床		沖 縄
合 計		1,659床	9,144床	365床	

第14回厚生科学審議会感染症分科会結核部会

平成20年12月5日(金) 10:00~12:00

厚生労働省5F専用第12会議室

時刻	発言者	内容	コメント
10:00	事務局 (江浪補佐)	開会	<p>定刻でございますので、これより、「第14回厚生科学審議会感染症分科会結核部会」を開会いたします。</p> <p>委員の皆様方にはご多忙中のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は健康局結核感染症課で課長補佐をしております江浪でございます。しばらくの間、進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは本部会の開催にあたりまして、梅田結核感染症課長よりご挨拶を申し上げます。</p>
10:02	梅田課長	挨拶	挨拶
10:05	事務局 (江浪補佐)	委員出欠状況報告  事務局職員の紹介  参考人の紹介	<p>開会に先立ちまして、委員の出欠状況の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の出欠状況につきましては、青木(あおき)委員、高橋(たかはし)委員からご欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>現在の部会委員総数12名のうち、10名の御出席をいただいておりますので、本日の部会が成立いたしますことをご報告いたします。</p> <p>次に、事務局の職員のご紹介をいたします。 (難波感染症情報管理室長、石塚課長補佐、宮野専門官)</p> <p>本日は、「今後の結核病床のあり方に関する研究」の中間報告を取りまとめられた、財団法人結核予防会複十字病院第一診療部付部長の吉山先生に、参考人としてお越しいただいております。</p> <p>吉山先生には、後ほど、研究の実施状況について、ご報告いただきたいと思います。</p>
10:08	事務局 (江浪補佐)	資料確認	<p>ここで、カメラ取りは終了させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。</p> <p>続きまして資料の確認をさせていただきます。 (議事次第及び各資料確認)</p> <p>不足等ございましたら、事務局までお知らせ下さい。</p> <p>それでは、後の進行は坂谷部会長よりよろしくお願い致します。</p>

第14回厚生科学審議会感染症分科会結核部会

平成20年12月5日(金) 10:00~12:00

厚生労働省5F専用第12会議室

10:10	坂谷部会長	議題1	<p>皆さん、本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、今日の会議の進行ですが、お手元の議事次第に添って進めてまいります。</p> <p>委員の皆様には円滑な議事にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、議題1「結核登録票に係る活動性分類等について」事務局より説明願います。</p>
10:15	事務局 (宮野専門官)		資料を、背景を含めて説明
10:30	坂谷部会長		<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から3つの検討課題が出されていますが、一点目の潜在性結核感染症の追加については、粛々と追加いただくことと思います。</p> <p>二点目と三点目の論点については、本部会において議論をすることが必要ですが、二点目と三点目の論点については、お互いに関係した問題でもございますので、同時に議論をしたいと思います。</p> <p>ご意見ございましたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>(約30分ほど 適宜意見交換)</p>
11:00	坂谷部会長	議題2	<p>ありがとうございました。今いただいたご意見については、事務局で、整理の上、次回部会にご報告ください。</p> <p>次に、議題2「今後の結核医療のあり方について」について議論をしたいと思います。</p> <p>まずは、事務局において、前回の部会での議論をまとめてもらいましたので、事務局より説明してください。</p>
11:05	事務局 (宮野専門官)		前回議論のまとめを説明。参考資料も併せて説明。
11:10	坂谷部会長	議題2-ア	<p>この議題に関連して、二つの研究班から中間報告をいただけることになっています。</p> <p>それでは、まず、ア) 今後の結核病床のあり方に関する研究の実施状況について、財団法人結核予防会複十字病院第一診療部付部長の吉山参考人より説明願います。</p>

第14回厚生科学審議会感染症分科会結核部会

平成20年12月5日(金) 10:00~12:00

厚生労働省5F専用第12会議室

11:12	吉山参考人		資料を、背景を含めて説明 (約10分)
11:22	坂谷部会長	議題2-I	ありがとうございました。 いまご報告いただきましたことについての質疑は後でまとめてお願いしたいと思います。 次に、議題2「今後の結核病床のあり方について」のイ)長期入院患者に関する研究の実施状況について、加藤委員より説明願います。
11:23	加藤委員		資料を、背景を含めて説明 (約10分)
11:33	坂谷部会長		ありがとうございました。 ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。 (適宜、意見交換)
11:53	坂谷部会長		ありがとうございました。  今後の結核医療のあり方については、次回以降も本部会においてご検討をお願いすることにしたいと考えております。
11:55	坂谷部会長		ありがとうございました。 これで、すべての議題を終えることができました。 事務局から何か伝達事項はありますか。
11:57	事務局 (江浪補佐)		1点ご報告がございます。 本年2月に本部会でご審議いただいた「結核医療の基準」については、先生方の貴重なご意見を踏まえ、現在、厚生労働省令及び厚生労働省告示の改正作業を行っており、本年12月中をメドに公布し、来年2月には施行する予定となっております。  また、今後の部会の日時・議題等については、おって事務局より連絡させていただきます。
12:00	坂谷部会長		では、時間がまいりましたので、これで本日の部会は閉会にしたいと思います。  本日は、お忙しい中、誠にありがとうございました。